

平成30年度

事業報告書  
収支決算書

平成30年4月 1日から  
平成31年3月31日まで

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

# 目 次

## 平成30年度 事業報告書

《 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで 》

### I. 実施事業

1. 人材確保及び技術・技法継承事業・ 1
2. 産地指導事業・ 3
3. 普及推進事業・ 5
4. 需要開拓事業・ 16
5. その他の振興事業・ 20

### II. 法人の概況

1. 設立年月日・ 21
2. 定款に定める目的・ 21
3. 定款に定める事業内容・ 21
4. 会員の状況・ 21
5. 主たる事務所の状況・ 21

### III. 役員会等に関する事項

1. 理事会の開催・ 22
2. 評議員会の開催・ 23
3. 伝統的工芸品産地連絡会議の開催・ 23
4. 業務執行会議の開催・ 23

### IV. 庶務事項

1. 基本財産の造成・ 24
2. 収支及び正味財産増減の状況並びに  
財産の状態の推移・ 24
3. その他の庶務事項・ 25
4. 会員名簿・ 26
5. 作成資料等一覧・ 32

## 平成30年度 収支決算書

《 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで 》

- I. 財務諸表・ 34

# 平成30年度事業報告書

《平成30年4月1日から平成31年3月31日まで》

## I. 平成30年度実施事業

### 1. 人材確保及び技術・技法継承事業

伝統工芸士の認定事業では、伝統的工芸品産業の根幹である伝統的技術・技法を継承するため、各産地で実技試験の視察を行うことで試験の厳正な実施を強化した。

「児童・生徒の教育事業」では、暮らしの中での和の味わいと関連させつつ工芸品に関心を呼び起こすため、産地には工芸品製作体験をさせるだけでなく、現代生活での使用例を示すよう促した。

「ふるさと体験・交流事業」では、工芸品の製作体験が催事のイベントに終始することなく、産地後継者発掘の手段である趣旨に沿うよう産地の求人実情を正確に伝えるよう促した。

また、新規もしくは雇用間もない従事者を指導する産地組合に対し、指導に要する謝金を補助する「新規従事者指導支援事業」を実施し、円滑な技術・技法習得の推進、産地後継者の確保・育成を支援した。

#### 1) 伝統工芸士認定等事業

経済産業大臣指定伝統的工芸品等の製造に関する伝統的な技術・技法に熟練した従事者の認定を行い、その知識・技術・技法の向上を図り、もって伝統的工芸品産業の振興に寄与することを目的として、従事年数12年以上の技術者を対象に試験を実施し、合格者の認定登録を行った。受験資格の12年には、研修期間を算入できる公的技術習得施設を追加することにより、若手でも優秀な従事者に伝統工芸士受験の機会を与えた。

##### ① 伝統工芸士審査委員会委員（順不同・敬称略）

委員長	宮崎 清	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会評議員
副委員長	増村 紀一郎	漆芸家、東京芸術大学名誉教授、重要無形文化財「髹漆」保持者
委員	新井 久夫	岩槻人形協同組合理事長
	江上 昌幸	東京都工芸染色協同組合理事長
	梶原 壽治	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長
	栗田 豊滋	経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室長
	桑原 博	塩沢織物工業協同組合理事長
	戸田 敏夫	日本伝統工芸士会副会長、江戸指物伝統工芸士会会長
	宮川 孝昭	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会業務執行理事 彦根仏壇事業協同組合理事長
	吉田 正一	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会理事長

（50音順・敬称略）

##### ② 認定試験の実施等

実施産地数・受験者数	42工芸品39産地	148名
合格者数	37工芸品37産地	130名
登録者数	37工芸品37産地	130名（平成31年2月25日付）
認定者数累計	7,943名	

##### ③ 伝統工芸士審査委員会の開催

第1回審査委員会	30. 9. 4（火）	於：協会
第2回審査委員会	30. 12. 4（火）	於：協会

##### ④ 実技試験視察

実技試験の実施状況について、審査委員が視察を行った。

・尾張仏具 30. 9. 22（土）

・小千谷縮	30.10.4 (木)
・越前和紙	30.10.4 (木)
・木曾漆器	30.10.23 (火)
・東京アンチモニー工芸品	30.10.24 (水)
・南部鉄器	30.10.24 (水)

## 2) 伝統工芸士研修会

伝統工芸士名簿に登録後、5年毎に受講し、伝統工芸士の技術及び知識水準の維持・向上を図る目的で実施。平成5, 10, 15, 20, 25年度に認定登録された伝統工芸士と前年度に産地事情や病気等で研修会を受講できなかった伝統工芸士が対象。

実施期間 30. 8.18 (土)～12.18 (火)

実施産地 111産地

受講者数 886名

## 3) 伝統工芸士叙勲の推薦

伝統工芸士の長年の産地振興の功績に対する叙勲(Ⅱ類)について、当協会の推薦により次の伝統工芸士が受章した。

受章者数 28名(累計1,140名 男性:1,053名 女性:87名)

<30. 5.10> 14名 瑞宝単光章

阿部 一 義(内山紙)	川崎 幸 子(博多人形)
生田 範 男(本場大島紬)	神吉 岩 雄(播州三木打刃物)
井上 重 一(京表具)	笹谷 克 朗(京仏具)
今西 一 博(金沢箔)	曾根 賢 治(会津塗)
上野 房 男(岡崎石工品)	福田 義 久(西陣織)
小関 弘 子(京焼・清水焼)	干場 武(東京銀器)
笠井 武(新潟・白根仏壇)	前川 賢 吾(常滑焼)

<30.11.12> 14名 瑞宝単光章

芦田 俊 明(京友禅)	佐伯 和 彦(京鹿の子絞)
池田 慶 郎(播州三木打刃物)	佐野 宏 行(高岡銅器)
伊保 弘 一(京石工芸品)	杉林 孝 幸(金沢仏壇)
江守 正 弘(西陣織)	中辻 隆(京友禅)
大久保 忠 幸(江戸切子)	西口 良 次(播州三木打刃物)
小谷 昭 男(京仏壇)	沼田 守 康(東京銀器)
齋藤 義 孝(山形仏壇)	堀田 善 信(京小紋)

## 4) 児童・生徒に対する伝統的工芸品教育等事業

伝統工芸士等の職人が、小学生・中学生に対して、伝統的工芸品の生活の中での使われ方や特性、技術・技法、原材料に関する講習や、工芸品の製作体験を実施することにより、児童・生徒の伝統的工芸品に関する興味や関心を高めることを目指した。

実施産地組合数 109産地組合(前年度 108産地組合)

実施学校数 615校(前年度 692校 いずれも延べ申請件数)

受講者数 32,146名(前年度35,248名)

延べ実施日数 636日(前年度 715日)

## 5) 伝統的工芸ふるさと体験・交流等事業

伝統的工芸品の製作実演及び製作体験指導を通じ、学生・社会人等が、伝統工芸士等の持つ技に直

接触れる機会を増やし、伝統的工芸品に対する理解や愛着を促し、その産業を支える環境や従事者に対して関心を持ち、産地就労の契機とするために実施した。

「伝統的工芸品体験フェア」

実施団体数	33件	(前年度	49件)
実施件数	71件	(前年度	116件)
参加者数	6,112名	(前年度8,623名	いずれも体験参加者のみ、来場者は含まない)
就労実績	3産地	7名	

## 6) 新規従事者指導支援事業

新規もしくは雇用間もない従事者を指導する産地組合のうち指定された技術保持者が少数、高齢であるなど、継承に緊急度が高い産地に対し、指導に要する謝金を補助し、併せて新規従事者等を対象に第一線で活躍中の伝統工芸士他による講習会を実施し、技術・技法習得意欲の向上を図り、産地後継者の円滑な確保・育成を支援した。

### ① 新規従事者指導支援事業審査委員会委員 (順不同・敬称略)

委員長	岩清水 晃	岩手県南部鉄器協同組合連合会会長
委員	河口 純一	佐賀県立有田窯業大学校元非常勤講師
	北岡 省三	香川県漆芸研究所講師
	栗田 豊滋	経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室長
	山口 雅功	山中漆器連合協同組合理事長

### ② 申請、実施産地数

申請	18産地	28工程
実施	18産地	28工程 (前年度 11産地 14工程 継続を含む)

本場大島紬、東京染小紋、名古屋友禅、京鹿の子絞、伊賀くみひも、九谷焼、波佐見焼、新潟漆器、鎌倉彫、樺細工、名古屋仏壇、尾張仏具、彦根仏壇、川辺仏壇、岩槻人形、江戸べっ甲、江戸切子、江戸木版画

### ③ 審査委員会の開催 30. 6. 25 (月) 於：協会

### ④ 講習会の開催 30. 10. 22 (月) 於：協会

講師	躑躅森 健	川連漆器伝統工芸士会会長、日本伝統工芸士会副会長
	田代 隆久	村山大島紬伝統工芸士会会長、日本伝統工芸士会常任幹事
受講者	本事業による指導を受けている新規従事者 29名 (前年度 18名)	

### ⑤ 進捗状況の確認

産地内の同工程の製造技術者、同業種他産地の製造技術者、伝産協会職員が、指導状況の確認のため各事業所を訪問した

a. 実施時期	31. 1. 17～	3. 8
b. 確認者	産地内製造従事者	21名
	同業種他産地製造従事者	1名

## 2. 産地指導事業

産地の伝産表示対策適正化指導。

産地の実勢（生産額、従事者、原材料等不足状況等の実態）を調査。また、地方自治体の伝産関連事業者支援予算調査を実施し、集計内容を自治体へ情報提供した。

産地が抱える問題の中からテーマを絞り、問題解決の事例を紹介するセミナーを開催した。

### 1) 指定産地振興指導等事業

#### ① 検査体制の整備促進事業

伝統的工芸品表示の適正化及び実施促進を図るため、下記の38産地に対し業務委託契約により検査指導員を派遣し現地指導を行った。今後は適正に実施している産地名を公表して、表示事業への再認識を促す。

平成30年度産地組合検査指導実施産地

1	多摩織	H30. 6. 7	20	大阪金剛簾	10.24
2	房州うちわ	6.11	21	大阪欄間	10.25
3	久留米緋	7. 4	22	丹波立杭焼	11.12
4	唐津焼	7. 5	23	播州毛鉤	11.13
5	置賜紬	7.11	24	播州そろばん	11.13
6	羽越しな布	7.12	25	播州三木打刃物	11.14
7	石州和紙	7.24	26	鈴鹿墨	11.20
8	雲州そろばん	7.25	27	伊賀焼	11.21
9	弓浜緋	7.26	28	越前焼	12. 5
10	江戸からかみ	8.31	29	高岡漆器	12. 6
11	東京手描友禅	9.13	30	高岡銅器	12. 6
12	大洲和紙	9.20	31	岐阜提灯	12.13
13	阿波和紙	9.21	32	美濃和紙	12.14
14	塩沢紬／本塩沢	9.27	33	新潟漆器	H31. 1.16
15	十日町緋/十日町明石ちぢみ	9.28	34	燕鋸起銅器	1.17
16	都城大弓	10. 9	35	越後三条打刃物	1.17
17	薩摩焼	10.10	36	瀬戸染付焼	2.18
18	本場大島紬	10.11	37	木曾漆器	2.19
19	堺打刃物	10.23	38	信州紬	2.20

## ② 産地振興の指導

指定産地組合等が策定する振興計画、共同振興計画、ならびに伝産表示規程に関する指導助言等を行ったほか、国との連携により、活性化事業、連携活性化事業及び支援事業の実施に資する情報提供を行った。

## 2) 伝統的工芸品産地調査・診断等事業

### ① 産地実勢調査

伝統的工芸品産業の実勢の把握を目的として、産地における生産額、企業数及び従事者数に関する「実勢調査」を実施した。36工芸品については、実際に産地を訪問し、実態についての聞き取り調査を行った。

### ② 自治体伝統的工芸品産業支援関連予算調査

都道府県、協会会員政令指定都市、市町村並びに指定告示において「主な製造地域」となっている自治体に対し、伝統的工芸品産業従事者が活用できる予算についての調査を行い、当協会事業の参考とすると共に、自治体との連携推進の一助とした。

### ③ セミナーの開催

伝統的工芸品産地が抱える問題の中から「後継者の確保・育成」「若手活用による産地活性化」にテーマを絞り、産地関係者を講師に招き事例を紹介、また、事務局、製造者とも少ない人材で問

題を解決するためにIT活用についても実例を紹介するセミナーを開催した。

a. 伝統的工芸品産地課題対策実例セミナー

30.11.15 名古屋会場 若手活用による産地活性化

講師：彦根仏壇、伊万里・有田焼、江戸指物

受講者：9名

30.12.7 東京会場 後継者確保・育成、若手活用による産地活性化

講師：博多織、会津塗、有松・鳴海絞、箱根寄木細工、東京手描友禅、大阪浪華錫器

進行：赤瀬浩成（メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)代表取締役）

受講者：11名

b. 伝統的工芸品産業IT活用実例セミナー

31.2.19 於：協会

講師：竹中俊介（株竹中代表取締役）

「山中漆器産地におけるITを活用した生産管理体制の導入について」

磯野 研 彦根商工会議所中小企業支援コーディネーター／

中小企業診断士

「ITの活用による販売促進、顧客管理等の成功事例の紹介」

受講者：20名

④ 工程別従事状況調査

複数の従事者の分業により伝統的工芸品製造を行っている産地では、特定工程の従事者の減少により製造が難しくなっている産地があることから、分業体制と工程別従事者の状況についてのアンケート調査を行った。

### 3. 普及推進事業

普及広報では、伝統的工芸品の各種媒体によるPR、官民一体の伝統的工芸品月間キャンペーン事業、販路拡大にもつながるJTCW事業、総合展示・情報発信施設として「伝統工芸青山スクエア」の運営、スクエアへの誘因を目指したエリア広告、また「伝統マーク」及び「伝統工芸士」の周知拡大をさらに推進し使い手の関心を喚起するPRを重点的に実施した。加えて、伝統的工芸品の技の一端を視覚的に紹介するイメージ映像を作成し、ホームページ及びYouTube等で公開したほか、Web広告やSNS広告など効果的な新メディアを積極的に活用するとともに、「伝え手育成」事業を開始した。

また、媒体関係者との関係強化に努め取材依頼等に対応し、無料掲載（編集協力）の拡大を行った。

#### 1) 伝統的工芸品普及等事業

伝統的工芸品に対する消費者・流通関係者の理解の増進に努めるとともに、伝統工芸青山スクエアの周知の向上並びに伝統工芸士の地位向上、伝統マークの認知向上を通じて、伝統的工芸品のPRを図った。

##### ① 新聞・雑誌等

・「四季の味」	4回	・「家庭画報」	1回	・「天然生活」	1回
・「ライフガイド」	1回	・「キスポート港区民祭り」	1回	・「CREA」	1回
・「宣伝会議」	1回	・「&Premium」	1回	・「クロワッサン」	1回
・「キスポート」	5回	・「Japan Times」	1回	・「公益法人」	1回
・「女性自身」	2回	・「女性セブン」	2回	・「週刊女性」	2回
・「週刊朝日」	2回	・「サンデー毎日」	2回	・「週刊新潮」	2回
・「週刊文春」	2回	・「週刊ポスト」	2回	・「週刊現代」	2回
・「オレンジページ」	1回	・「読売新聞」エリア特集	1回	・「日本経済新聞」	2回

- ・「朝日新聞」 2回 ・「読売新聞」 1回 ・地方新聞23紙 各1回
- ② ダイレクトメールの発行  
規格 大型ハガキ版 表裏4色カラー 発行回数4回
- ③ 映像制作
  - ・伝統的工芸品映像 手技「TEWAZA」(9産地)  
榊細工、本場大島紬、仙台箆笥、尾張七宝、肥後象がん、井波彫刻、高岡銅器、大谷焼、結城紬
  - ・映像公開 51産地(協会 YouTubeチャンネル)  
PV数2,530,396回(国内301,176回 海外2,229,223回)  
前年PV数563,672回(国内115,811回 海外447,861回)
- ④ オンライン広告
  - ・伝統工芸青山スクエアのPRを目的に、「Google」社によるGoogle広告を実施した。  
実施期間 平成31年2月  
エリア 伝統工芸 青山スクエア周辺3km  
(バナー表示回数46,300,000回、ランディングページ クリック数38,243回、青山スクエア地図検索数3,980回)
- ⑤ 交通広告 看板・ポスター
  - ・看板
 

都営地下鉄大江戸線 青山一丁目駅出口	30. 4. 1~31. 3.31
東京メトロ銀座線 青山一丁目駅構内	30. 4. 1~31. 3.31
東京メトロ半蔵門線 青山一丁目軌道内	30. 10. 1~31. 3.31
東京メトロ改札口看板(ナビタ)5箇所	30. 4. 1~31. 3.31
青山一丁目駅新青山ビルショーケース	31. 1. 10~31. 3.31
  - ・ポスター掲示
 

赤坂郵便局	30. 4. ~31. 3
-------	---------------
  - ・メトロナビマップ配布
 

東京メトロ・都営線 青山一丁目駅構内	30. 4. 1~31. 3.31
--------------------	-------------------
  - ・港区コミュニティバス「ちいバス」ラッピング広告 31. 3
  - ・伝統工芸青山スクエア周辺エリア1,800世帯ポスティング広告  
31. 3. 5~31. 3. 6
- ⑥ メールニュース配信
  - ・青山スクエア会員及び国内メディア関係者を対象とした(DENSAN MAILNEWS)を配信した(月1回、計9回)
- ⑦ 無料広告
  - <紙媒体>
 

・「See more of Tokyo」5月	・「&Premium」7月	・「ニッポンおみやげ139景」5月
・「Discover Japan」9月	・「Marui ムティ」1月	・「観光タクシー東京観光」5月
・「水の文化」7月	・関西ハンドブック9月	・「グラスウェアタイムス」9月
・道の駅春号 12月	・「ひととき」2月	・宣伝会議 2月
・「大分合同新聞」9月	・「北陸中日新聞」12月	・「日刊県民福井」12月
・「陶業時報」6・9・11・1月	・「とっておきの港区」日・英・中・韓	
・「家庭画報」(伝統工芸の美、再発見シリーズ)30. 4~31. 2発売		計9回
  - <電波媒体>
    - ・ANA 機内 Wi-Fi「手技 TEWAZA」31. 4~機内放送
    - ・パネルクイズ「アタック25」30. 4. 25放送
    - ・TBS テレビ「和心百景」第73回~第78回 加賀友禅 30. 3.31~30. 4.14放送
    - ・TBS テレビ「和心百景」第79回~第81回 伊勢形紙 30. 4.21~30. 5. 5放送



- ・TBS テレビ「和心百景」第82回～第84回 一位一刀彫 30. 5.12～30. 5.26放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第85回～第87回 高山茶釜 30. 6. 2～30. 6.16放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第88回～第90回 駿河竹千筋細工 30. 6.23～30. 7. 7放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第91回～第93回 八女提灯 30. 7.14～30. 7.28放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第94回～第96回 本場大島紬 30. 8. 4～30. 8.18放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第97回～第99回 大阪浪華錫器 30. 9. 1～30. 9.15放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第100回～第102回 山中漆器 30. 9.22～30.10. 6放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第103回～第105回 東京染小紋 30.10.13～30.10.27放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第106回～第108回 越後三条打刃物 30.11. 3～30.11.17放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第109回～第111回 博多人形 30.11.24～30.12. 8放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第112回～第114回 南部鉄器 30.12.15～30.12.29放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第115回～第117回 京扇子 31. 1. 5～31. 1.19放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第118回～第120回 有松・鳴海絞 31. 1.26～31. 2. 9放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第121回～第123回 大内塗 31. 2.16～31. 3. 2放送
- ・TBS テレビ「和心百景」第124回～第126回 越前和紙 31. 3. 9～31. 3.23放送
- ・外務省ジャパンハウス・ロンドンでの映像公開（通年）

⑧ 訪日外国人誘致事業

年々増加する訪日外国人に対する工芸品産地への誘致対策として、外国人フォトジャーナリストを活用し、外国人視点での産地訪問記をインターネット配信。産地組合に対しては産地が有する各種説明資料やホームページ等の外国語翻訳支援を行った。通訳案内士の団体と連携し団体客の産地訪問時に通訳を派遣する事業も支援メニューとした。

外国人取材産地 東京染小紋（東京都）  
パンフレットの翻訳 西陣織、備前焼

⑨ 伝統的工芸品伝え手育成事業

伝統的工芸品を日常的に愛用し、自分の感性で楽しんでいる一般消費者に対し、伝統的工芸品の作り手の思いや知識を学ぶ講座や産地見学を実施し、自身の SNS 等で工芸品の魅力を発信。産地の「伝え手」を育て、活用することでPRや販売促進につなげるきっかけ作りとした。

a. 活用産地：9産地

近江上布、九谷焼、丹波立杭焼、波佐見焼、津軽塗、木曾漆器、京指物、越前和紙、甲州手彫印章

b. 受講者：25名

c. 講座の開催

30. 9.29 於 東京ミッドタウンカンファレンスルーム

講師：赤瀬浩成 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)代表取締役  
桜井里子 日本のふるさと手しごと協会代表理事  
田中由美子 滋賀県麻織物工業協同組合事務局長  
望月一宏 山梨県印章店協同組合理事長

受講者：25名

30. 11. 8～12. 12

産地見学（活用9産地を受講者が見学）

31. 2. 2 於 東京ミッドタウンカンファレンスルーム

講師：戸舘和子 多摩美術大学教授/工芸評論家/工芸史家  
受講生による個別発表  
受講者：14名

2) 伝統的工芸品の表示の推進

伝統証紙を発行するとともに、産地組合の伝統マーク利用の促進に努めた。

① 伝統証紙事業

通産大臣名の伝統証紙を在庫でかかえている産地（11 工芸品）に対し、費用の一部負担で経済産業大臣名の伝統証紙と交換を行った。

a. 発行枚数 合計 3 2 1, 2 2 5 枚（前年度 2 5 7, 4 5 0 枚）

発行先内訳

染織品	4 9, 5 0 0 枚	陶磁器	4, 0 0 0 枚
漆器	0 枚	木・竹工品	1 0 7, 1 6 8 枚
金工品	2 5, 0 0 0 枚	仏壇・仏具	2 0 0 枚
和紙・文具	3 1, 0 0 0 枚	石・人形・諸工	1 0 4, 3 5 7 枚

b. 発行先数 3 5 産地組合

② 伝統マーク使用状況 総件数 3 4 2 件（前年度 3 1 9 件）

a. パンフレット・ちらし・カタログ	計 7 4 件		
地方公共団体	3 4 件	産地組合等	2 9 件 企業等 1 1 件
b. ダイレクトメール・はがき・封筒等	計 1 4 件		
地方公共団体	2 件	産地組合等	1 2 件
c. ポスター・パネル等	計 2 5 件		
地方公共団体	1 0 件	産地組合等	1 4 件 企業等 1 件
d. 看板等	計 1 1 件		
地方公共団体	4 件	産地組合等	6 件 企業等 1 件
e. 新聞広告	計 1 0 件		
産地組合等	1 0 件		
f. その他（名刺、HP、教材誌等）	計 2 0 8 件		
地方公共団体	2 件	産地組合等	1 6 7 件 企業等 3 9 件

3) 伝統工芸青山スクエア等事業

伝統的工芸品の普及及び需要開拓、産地事業者の市場ニーズ把握を目的とする。経済産業大臣指定伝統的工芸品の総合展示場として、季節展示の実施、工芸品映像備品の拡充、店外モニターの新設を含めた展示場の改修を行い、展示効果を高めた。官公庁や企業のギフト需要は大幅に増加しており、伝統的工芸品など産地の製品を魅力的な商材と見る民間事業者の問い合わせも確実に増えている。

改善課題としては、停滞している来場者の増加のため、安定的に増加している外国人来場者や友の会会員への情報発信、来店促進案内の強化、商品の魅力及び産地・作者の情報を正しく伝えるための、売り場のレイアウトや接客に加え、品揃えや展示方法・提案方法などが挙げられる。

① 入場者数 111, 832 名 月平均 9, 319 名（前年度 125, 553 名 月平均 10, 463 名）

② 常設展示 = 124 工芸品 + 3 工芸材料・用具（前年度 126 工芸品 + 3 工芸材料）

- 【織物】 12 村山大島紬、多摩織、小千谷縮、小千谷紬、信州紬、牛首紬、西陣織、阿波正藍しじら織、博多織、久留米緋、本場大島紬、久米島紬
- 【染色品】 5 東京手描友禅、有松・鳴海絞、京鹿の子絞、京友禅、京小紋
- 【その他繊維】 2 伊賀くみひも、京くみひも
- 【陶磁器】 25 大堀相馬焼、会津本郷焼、笠間焼、益子焼、九谷焼、美濃焼、常滑焼、赤津焼、瀬戸染付焼、四日市萬古焼、伊賀焼、京焼・清水焼、丹波立杭焼、出石焼、備前焼、萩焼、砥部焼、小石原焼、上野焼、伊万里・有田焼、三川内焼、波佐見焼、小代焼、薩摩焼、壺屋焼
- 【漆器】 18 津軽塗、秀衡塗、浄法寺塗、川連漆器、会津塗、鎌倉彫、村上木彫堆朱、新潟漆器、木曾漆器、高岡漆器、輪島塗、山中漆器、飛騨春慶、越前漆器、若狭塗、紀州漆器、大内塗、香川漆器
- 【木工品】 13 岩谷堂箆笥、樺細工、大館曲げわっぱ、江戸指物、箱根寄木細工、加茂桐箆笥、南木曾ろくろ細工、井波彫刻、京指物、大阪唐木指物、豊岡杞柳細工、紀州箆笥、宮島細工

- 【竹工品】 5 駿河竹千筋細工、高山茶釜、別府竹細工、紀州へら竿、都城大弓
- 【金工品】 9 南部鉄器、東京銀器、燕鋤起銅器、高岡銅器、越前打刃物、堺打刃物、大阪浪華錫器、播州三木打刃物、肥後象がん
- 【仏壇・仏具】 5 彦根仏壇、京仏壇、金沢仏壇、名古屋仏壇、三河仏壇(交替出品)
- 【和紙】 7 越中和紙、美濃和紙、越前和紙、因州和紙、石州和紙、阿波和紙、土佐和紙
- 【文具】 7 豊橋筆、奈良筆、熊野筆、川尻筆、雄勝硯、赤間硯、播州そろばん
- 【石工品】 2 甲州水晶貴石細工、京石工芸品
- 【人形】 5 宮城伝統こけし、江戸木目込人形、岩槻人形、江戸節句人形、博多人形
- 【諸工芸品】 9 天童将棋駒、江戸からかみ、江戸切子、江戸硝子、江戸木版画、甲州印伝、尾張七宝、京扇子、京うちわ
- 【材料・用具】 3 庄川挽物木地、金沢箔、伊勢形紙

### ③ 特別展示

#### a. 特別展の開催

特別展28回(※「公募展」を除く)、匠コーナー39回を開催し、延べ188工芸品(前年度274工芸品(※「公募展」を除く))の指定工芸品等を展覧に供し、作り手と使い手との親密な交流に努めた。

#### b. 消費者参加企画

特別展開催に併せて、トークショー、製作実演及び体験教室を実施するなど、伝統的工芸品の理解促進に努めた。

### ④ その他事業

#### a. ぬりもの・やきものクリニック

柴田康時氏(輪島塗)の協力により、漆器・陶磁器の無料相談(修理希望者には実費修理)を実施した。(11回)

#### b. リボーン漆器

輪島塗の柴田康時氏、引持力雄氏の協力により、使われなくなった漆器を塗り直した製品を販売することで、修理をすることで長い間使い続けることができることをアピールした。

#### c. 友の会の運営

会員数7,097名(31.3.31現在)(前年度6,301名)

#### d. 外部展示協力

##### ・伝統的工芸品展 in AEON MALL

イオン1%クラブに協力いただき、伝統的工芸品の持つ“日用品”としての用途と乖離した、現代人の抱く工芸品に対するイメージを拭うことを目的に、実際に工芸品を使用する機会を提供するイベントを実施することによって日常生活に取り入れることを目的に開催した。

#### 【開催日程・会場】

##### 第1会場

会場名 イオンモール福津(福岡県福津市)※月間福岡大会告知

会期 30.10. 2(土)、10. 3(日)

出展工芸品 西陣織、博多織(3社)、本場大島紬、京友禅・京小紋、伊賀焼、備前焼(2社)、伊万里・有田焼、波佐見焼、川辺仏壇、肥後象がん、宮城伝統こけし

##### 第2会場

会場名 イオンモール堺北花田(大阪府堺市)

会期 31. 1.19(土)、 1.20(日)

出展工芸品 近江上布、加賀友禅、三州鬼瓦工芸品、伊賀焼(2社)、備前焼、伊万里・有田焼、津軽塗、南木曽ろくろ細工、大阪唐木指物、豊岡杞柳細工、金沢仏壇、大阪仏壇、播州そろばん

##### 第3会場

会場名 イオンレイクタウン KAZE(埼玉県越谷市)

会 期 31. 1.26 (土)、 1.27 (日)  
 出展工芸品 秩父銘仙、西陣織、京友禅・京小紋、伊賀焼、九谷焼、備前焼 (2社) 木曾漆器、秋田杉桶樽、江戸指物、七尾仏壇、越中和紙、真壁石灯籠、江戸木版画、甲州手彫印章

・伝統的工芸品展「うつわ展」イオンレイクタウン  
 イオンモール株式会社の協力により、食卓に最も身近な「器」に特化し、伝統的工芸品のある新たなライフスタイルを提案することを目的に開催した。

【開催日程・会場】

会 場 名 イオンレイクタウン KAZE (埼玉県越谷市)  
 会 期 31. 2.23 (土)、 2.24 (日)  
 出展工芸品 益子焼、備前焼 (2社)、鎌倉彫、樺細工、高岡漆器、津軽塗

・羽田空港ラウンジ展示

羽田空港国内線ラウンジ内ショーケースへの伝統的工芸品の展示  
 第一旅客ターミナル

POWER LOUNGE SOUTH (ゲート内2F) /POWER LOUNGE NORTH (ゲート内2F) 30.11～

POWER LOUNGE CENTRAL (ゲート外1F) 31. 3～

第二旅客ターミナル

POWER LOUNGE NORTH (ゲート内3F) 30.11～

POWER LOUNGE CENTRAL (ゲート外3F) 31. 3～

4) 伝統的工芸品月間推進等事業

経済産業省の省議決定で創設された「伝統的工芸品月間」を中心に、伝統的工芸品の国民生活への浸透を推進するため、官民一体となって以下の事業を実施した。

① 「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の開催

共 催	経済産業省、伝統的工芸品月間推進会議、福岡県伝統的工芸品月間推進協議会	
日 時	30.11.1 (木) 13:30～14:30	
会 場	アクロス福岡 シンフォニーホール	
祝 電	内閣総理大臣ほか 32通	
参加人数	約750名 (前年度750名)	
式 次 第	主催者挨拶	経済産業大臣政務官 滝 波 宏 文 福岡県知事 小 川 洋
	お言葉	高円宮妃久子殿下
	来賓挨拶	自由民主党伝統的工芸品産業振興議員連盟副会長 逢 沢 一 郎 衆議院議員 増 子 輝 彦 参議院議員 井 上 順 吾 福岡県議会議長 高 島 宗一郎
	歓迎の辞	福岡市長
	表 彰	経済産業大臣表彰 (功労賞44名、奨励賞7名) 九州経済産業局長表彰 (15名)
	受賞者代表挨拶	小石原焼陶器協同組合元理事長 太 田 哲 三
	祝電披露	
	大会宣言	伝統的工芸品月間推進会議委員 (一財)伝統的工芸品産業振興協会代表理事 安 藤 重 良
	次期開催地挨拶	岩手県副知事 保 和 衛

② 「2018伝統工芸ふれあい広場・福岡」の開催

伝統的工芸品の普及及び啓蒙促進を目的として開催するとともに流通関係者及び報道関係者に対しての周知を図った。

後 援 経済産業省、福岡県伝統的工芸品月間推進協議会、青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、広島県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、京都市、福岡市、独立行政法人中小企業基盤整備機構

会 期 30.11. 2 (金) ~ 4 (日)

会 場 マリンメッセ福岡

入 場 者 28,504名 (サテライト会場含め129,670名)

(前年度延べ257,256名 東京国際フォーラム、JPタワー・KITTE、丸ビル、東京ビル TOKIA 含)

開 会 式 高円宮妃久子殿下御臨席

主催者挨拶

福岡県知事

小 川 洋

(一財)伝統的工芸品産業振興協会代表理事

安 藤 重 良

来賓代表挨拶

福岡県議会議長

井 上 順 吾

テープカット

催事内容

a. 製作実演 10工芸品

【織 物】 結城紬

【染 色 品】 加賀友禅

【その他繊維】 京繡

【陶 磁 器】 益子焼

【漆 器】 川連漆器

【木 工 品】 井波彫刻

【竹 工 芸】 紀州へら竿

【仏壇・仏具】 飯山仏壇

【文 具】 赤間硯

【人形・こけし】 江戸木目込人形

b. 製作体験 11工芸品

【織 物】 場大島紬

【その他繊維】 京くみひも

【陶 磁 器】 伊万里・有田焼

【漆 器】 津軽塗、村上木彫堆朱

【木 工 品】 豊岡杞柳細工

【金 工 品】 肥後象がん

【和 紙】 越前和紙

【人形・こけし】 宮城伝統こけし

【諸 工 芸】 江戸木版画、甲州手彫印章

c. 特別展示

「繭から生糸まで」(展示・糸取り実演)

一般財団法人大日本蚕糸会

「漆ができるまで」(展示)

一般社団法人日本漆工協会

「全国食空間テーブルコーディネート展」

食空間コーディネート協会

「中尾彬セレクション」

「Room Clip×伝統的工芸品展示コーナー」

「給食で使われる工芸品/公共施設における伝統工芸品活用例」

「第二回三井ゴールドデン匠賞作品展示」

「現代(いま)×伝統的工芸品展示」

「伝統的工芸品×キャラクター」

d. 都府県紹介コーナー(32都府県)

e. 伝統的工芸品紹介 写真展示(230工芸品)

f. 伝統工芸ステージ

11月 2日

11:30～12:00 和楽器演奏会（全国邦楽器組合連合会）  
 13:00～13:30 伝統芸能 曲芸師 笑太郎  
 14:00～15:30 カウントダウンショーケース（福岡県）  
 16:00～16:30 和楽器演奏会

11月 3日

11:00～11:20 ファッションショー久留米緋（福岡県）  
 11:30～12:00 和楽器演奏会（全国邦楽器組合連合会）  
 13:00～13:20 ファッションショー博多織（福岡県）  
 14:30～15:30 IKKO 伝統美の素晴らしさ！  
 16:00～16:30 博多献上道中（福岡県）  
 16:30～17:00 博多券番（福岡県）

11月 4日

10:30～11:00 大学生コラボレーション事業発表（福岡県）  
 11:00～11:30 KIMONO プロジェクト10 カ国 SHOW ステージ（福岡県）  
 11:30～12:00 「中尾彬×伝統的工芸品」本物を知る男が語る伝統の魅力！  
 12:30～12:45 福岡県立八幡中央高校 書道パフォーマンス  
 13:00～13:30 小学生ポスターコンクール表彰式（福岡県）  
 14:00～14:30 KIMONO プロジェクト10 カ国 SHOW ステージ（福岡県）  
 14:30～15:10 大学生コラボレーション事業発表（福岡県）  
 15:15～15:45 和楽器演奏会（全国邦楽器組合連合会）

③ 「2018 全国くらしの工芸展・福岡」の開催

一般来場者に加え幅広く流通関係者への周知を行い開催後の商機の継続を図った。

後援 経済産業省/福岡県伝統的工芸品月間推進協議会/独立行政法人中小企業基盤整備機構

会期 30.11. 2（金）～11. 4（日）

会場 マリンメッセ福岡

小間数 75小間（前年度92小間）

出展工芸品 49品目（前年度56品目）

入場者数 28,504名（サテライト会場含め129,670名）

（前年度延べ257,256名 東京国際フォーラム、JPタワーKITTE、丸ビル、東京ビル TOKIA 含）

④ 「第21回日本伝統工芸士会作品展」の開催

伝統工芸士が日頃より研鑽を重ねている技術・技法により制作した作品を展示紹介するとともに、コンクールを実施して各賞を授与した。

共催 日本伝統工芸士会

後援 経済産業省、福岡県、福岡市、久留米市、八女市、筑後市、東峰村、広川町、福智町

会期 30.11.2（金）～11.4（日）

会場 マリンメッセ福岡

出品数 214点

審査結果

衆議院議長賞	輪島塗	茶箱 蜻蛉文様	國田一春
経済産業大臣賞	岩谷堂箆笥	脚付き両開き舟箆笥	菅野好平
九州経済産業局長賞	江戸指物	宝石箱	渡邊 彰
福岡県知事賞	博多織	平八寸なごや帯 変わり献上	木村佐次男
福岡市長賞	九谷焼	九谷焼赤絵更紗文花瓶	福島武山
久留米市長賞	江戸切子	霰菊繫ぎ文	石塚春樹

八女市長賞	堺打刃物	本焼 柳刃〔富士山〕	池田美和
筑後市長賞	小石原焼	乱れカンナ組皿	小野政司
東峰村長賞	山中漆器	四季花鳥図蒔絵香炉	針谷祐之
広川町長賞	伊万里・有田焼	色鍋島松竹梅文水指	市川光山
福智町長賞	尾張七宝	鳳凰文 三ツ脚香炉	加藤勝己
日本伝統工芸士会会長賞	京漆器	独楽文様中棗	野村 守
(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞	博多人形	荒ぶる神(地元の神楽舞)一品作	梶原正二
奨励賞	京漆器	乾漆「華盆」	山根茂晴
奨励賞	九谷焼	色絵桃梨更紗文皿	高 明
奨励賞	京焼・清水焼	京のデミタス CUP&SAUCER	竹内 滋

※その他、東武百貨店審査委員の選定による東武百貨店賞を選定した。

東武百貨店賞	九谷焼	赤絵陶管「黎明」	宮本雅夫
東武百貨店青年奨励賞	越前焼	越前ねじ立て 自然釉 壺	近藤修康
東武百貨店テーマ賞	江戸指物	島桑戸付引出箱	根本一徳

⑤ 博多大丸百貨店「伝統的工芸品展」の開催

第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会福岡大会」の認知度向上と伝統的工芸品の普及拡大を目的として、福岡市の中心地である天神地区の博多大丸百貨店において「月間福岡大会開催記念伝統的工芸品展」を開催した。

会 場 名	博多大丸百貨店 (福岡市博多区天神)
会 期	30.10.10 (水)～10.16 (火) 6日間
出展工芸品	久留米絣、本場大島紬、有松・鳴海絞、小代焼、会津塗、箱根寄木細工

⑥ 「伝統的工芸品展WAZA2019」の開催

経済産業大臣指定伝統的工芸品をはじめ、全国の工芸品を一堂に集めた国内最大級の工芸品展を首都圏で開催し、日本の伝統技術の基盤といえる手作り技術の継承、向上について国民の理解と支援を喚起し、暮らしに工芸品を普及浸透させるために需要の拡大を図り、我が国のもの作り産業の振興と工芸品産業を有する地域経済の発展に資することを目的として開催した。

開催にあたり出展者向けの事前説明会を行い、消費者へ訴求のための媒体掲載商品・商品展開、伝統的工芸品への関心を高めるイベント企画及び接客についての事前準備を行った。

会 期	31. 2.21 (木)～ 2.26 (火) 6日間
会 場	東武百貨店池袋店 8階催事場
後 援	経済産業省、中小企業庁、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、富山県、石川県、愛知県、福井県、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、長崎県、鹿児島県、秋田市、さいたま市、静岡市、名古屋市、京都市、福岡市、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、公益財団法人日本デザイン振興会、一般財団法人生活用品振興センター、一般財団法人地域活性化センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構

催事内容	経済産業大臣指定伝統的工芸品 86品目、ふるさと工芸品 10都府県出品
製作実演	17品目(経済産業大臣指定伝統的工芸品15品目 ※ふるさと工芸品(都府県)2品目) 【織 物】置賜紬、近江上布 【染 色 品】東京染小紋 【陶 磁 器】赤津焼、波佐見焼 【漆 器】京漆器、大内塗 【木 工 品】仙台箆笥、井波彫刻 【竹 工 品】江戸和竿 【金 工 品】東京銀器 【仏壇・仏具】京仏壇、京仏具(金泊押し工程の為、1品目とした)

【文 具】奈良筆

【人 形】江戸木目込人形、岩槻人形

【ふるさと】和ろうそく、木地人形

入場者数 143,090名 (昨年度146,020名)

雑 誌 CASA BRUTUS 3月号 (No228)、ku:nel (3月号)、クロワッサン 2月25日 (No991)、  
大人のおしゃれ手帖 3月号 (No60)、nice things 3月号 (vol.48)

交通広告 成田空港B1ポスター・羽田空港デジタルサイネージ 2月8日～26日

その他 制作体験、都府県紹介パンフコーナー、トークイベント

- |     |      |                       |                   |
|-----|------|-----------------------|-------------------|
| 31. | 2.21 | 松浦弥太郎 (クリエイティブディレクター) | ×大館曲げわっぱ          |
|     | 22   | 矢部澄翔 (書道家)            | ×石州和紙、熊野筆         |
|     | 23   | 飯島奈美 (フードスタイリスト)      | ×赤津焼、駿河竹千筋細工、尾張七宝 |
|     | 24   | 井伊百合子 (スタイリスト)        | ×置賜紬、博多織、仙台箆笥     |
|     | 25   | 沼田元氣 (写真家・詩人)         | ×宮城伝統こけし          |
|     | 26   | 森田空美 (着物研究家)          | ×近江上布、牛首紬         |

WAZA 2019における出品工芸品の業種別内訳

	出品数 (前回)	指定 品目数		出品数 (前回)	指定 品目数
織 物	12 (11)	38	仏壇・仏具	4 (5)	17
染 織 品	4 (4)	12	和紙・文具	6 (7)	19
他 織 維	1 (0)	4	貴石・石工品	2 (2)	6
陶 磁 器	11 (10)	32	人 形	5 (5)	8
漆 器	11 (10)	23	諸 工 芸	11 (13)	22
木 竹 品	14 (14)	32	材料・用具	1 (1)	3
金 工 品	4 (4)	16	合計	86 (86)	232

⑦ JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2018 (JTCW2018) の開催

伝統的工芸品に対する国内外の消費者・流通関係者への理解の増進及び伝統的工芸品の生産者消費者の交流を目的として「JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2018(以下、JTCW 2018)」を開催した。

今年で5回目となったこのイベントは、首都圏の青山・六本木エリア、銀座・丸の内エリアの東京30店舗のインテリア・ファッション・専門店などのショップが参加。伝統的工芸品の展示販売、実演やワークショップに加え、コラボレーション商品の発表、各店舗を巡るモバイルスタンプラリーを実施。参加店舗の15店舗は会期終了後も継続取引を行っているほか、イベント開催以降、数年にわたり継続的に取引が続けられ展開している店舗もある。

会 期 30.10.19 (金)～10.31 (水)

メイン会場 伝統工芸 青山スクエア

エリア	工芸品名	店舗名
青山	一位一刀彫	伝統工芸 青山スクエア
表参道	南部鉄器	Sarasa design lab
	江戸木版画	風呂敷専門店 むす美
	笠間焼	CIAO PANIC COUNTRY MALL
	薩摩焼	VA-VA CLOTHING&VARIETY
	九谷焼	ルーズ スクエア
	小千谷縮	玉川堂 青山店
	山形鋳物	プレインピープル 青山



	豊岡杞柳細工	TOKYO FANTASTIC OMOTESANDO
六本木	喜如嘉の芭蕉布	菱谷カレンブロッソ 東京ミッドタウン
目黒	三川内焼	TIME&STYLE MIDTOWN
代官山	熊野筆	THE COVER NIPPON
	高岡銅器	HENOHA DAIKANYAMA&STYLE STORE
	若狭塗	YOnoBI Love it.
丸の内	信楽焼	かまわぬ 丸の内店
日本橋	波佐見焼	CLASKA Gallery&Shop "DO" 日本橋店
銀座	砥部焼	プレインピール東急プラザ銀座
	久留米緋	COOPSTAND
	江戸木目込人形	東京鳩居堂 銀座本店
	丹波立杭焼	安藤七宝店 東京支店
	紀州箆笥	genten monococoro GINZA SIX
	伊万里・有田焼	玉川堂 銀座店
	置賜紬	genten 銀座店
	樺細工	ノリタケ・大倉陶園 銀座店
	宮城伝統こけし	AKOMEYA TOKYO
	東京銀器	HIGASHIYA GINZA
吉祥寺	京焼・清水焼	成城学園前 HANSEL&GRETEL
成城	別府竹細工	松庵文庫
西荻窪	備前焼	REAL Style HOME 吉祥寺店
	小代焼	MARKUS

織物・繊維・染織（4）、陶磁器（12）、漆器（1）、木・竹工品（5）、金工品（4）、文具（1）、こけし・人形（2）、諸工芸（1）

#### 5) ITを活用した伝統的工芸品活性化等事業

ホームページにおいて経済産業大臣指定伝統的工芸品の総合的な情報発信を行ったほか、オンラインショップを運営し、全国の伝統的工芸品の一部をインターネット上で紹介した。

##### HP閲覧分析結果

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
セッション数(件)	62,700	77,681	73,396	69,605	74,701	67,775
ページビュー数(項)	187,888	226,392	206,528	206,528	222,619	210,966

10月	11月	12月	1月	2月	3月
76,895	78,503	63,912	81,303	123,917	72,155
217,419	227,205	196,654	266,149	304,546	225,691

ホームページ掲載工芸品数 232工芸品 オンラインショップ掲載点数 772点  
 ホームページは、情報発信機能を拡充し鮮度の高い情報発信を行うとともに、閲覧情報の解析を行い利用者の利便性を高める改善を進めた。また、伝統マークの周知や伝統工芸会館情報の拡充などを行った。

簡単に情報にアクセスし情報共有及び拡散ができるインターネットの利点を最大限に生かし、多種多様な伝統的工芸品の魅力を訴求するとともに、工芸品産地とのネットワークを構築し、信頼性の向上に努め、直近（旬）の情報提供を行った。

6) 各種イベントへの後援等

産地組合、関係地方自治体からの申請に対し、後援等名義の使用を承認した（73件）。

#### 4. 需要開拓事業

国内外の需要開拓を拡大するため、現地のニーズ把握のための展示運営、見本市参加及び現在の生活に適応する商品づくりを支援する公募展、フォーラムを実施した。

1) 伝統的工芸品公募展等事業

本展では、伝統的工芸品の作り手に作品を公募し、審査のうえ入選作品展を開催することで、日ごろ積み重ねている技術・技法を評価するとともに、現代生活で使われ続けるための需要を喚起する目的で開催した。

募集する作品は見て愛でるためのものではなく「日常生活で使用するもの」とし、日本の美意識を受け継ぎ、実用性と耐久性を兼ね備え、消費者意識をとらえるための工夫やアイデアが表現された作品を評価の対象とした。

新たな審査委員を迎え、また、製品として魅力ある作品への募集を強化したことにより、昨年度を上回る作品が応募された。

① 開催概要

名 称	平成30年度全国伝統的工芸品公募展
後 援	経済産業省、中小企業庁、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会
応 募 入 選	工芸品数101品目、応募数175点、応募者数158名 101点
審査会 作品展	30.12.14（金） 於：協会 全国伝統的工芸品公募展 一入選作品展一
会 期	30.12.21（金）～31. 1. 9（水）
会 場	伝統工芸青山スクエア

② 審査委員

委員長	増 村 紀一郎	東京藝術大学名誉教授 重要無形文化財「髹漆」保持者
副委員長	御手洗 照 子	有限会社T-POT代表取締役
委員	安 藤 重 良	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事
	宇 野 万貴子	高島屋 MD本部 呉服ディビジョン ディビジョン長
	北 村 仁 美	東京国立近代美術館 主任研究員
	栗 田 豊 滋	経済産業省 製造産業局 伝統的工芸品産業室 室長
	黒 川 廣 子	東京藝術大学 大学美術館 教授
	田 口 肇	(地独)京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター 産業・文化連携担当課長
	田 中 敦 子	工芸ライター
	棚 町 敦 子	「美しいキモノ」エディトリアル スーパーバイザー
	日 野 明 子	クラフトバイヤー
	吉 田 龍太郎	株式会社プレステージ ジャパン 代表取締役

(五十音順・敬称略)

③ 審査結果 入賞13点

内閣総理大臣賞	京竹工芸	網代編セカンドバッグ	細 川 秀 章
経済産業大臣賞	越前焼	越前 陶・漆・紙	司 辻 健 司
経済産業省製造産業局長賞	山中漆器	うつろいカップ	(有) 浅田漆器工芸

中小企業庁長官賞	大阪切子	波花盃	安田 公 子
日本商工会議所会頭賞	九谷焼	popping 飾台	架 谷 庸 子
全国商工会連合会会長賞	博多織	手織り八寸なごや帯「シンフォニー」	
			相 澤 久美子
全国中小企業団体中央会会長賞	甲州印伝	更紗トートバッグ	山 本 裕 輔
(一財)伝統的工芸品産業振興協会賞	本塩沢	霞	酒 井 博
日本伝統工芸士会会長賞	琉球漆器	総螺鈿三線	小 渡 陽 禧
若手奨励賞	南部鉄器	茶筌形茶筌模様	佐々木 奈 美
	春日部桐箆筒	桐六角枳寄せ五重	小 野 留太郎
バイヤー賞	南部鉄器	鉄瓶 Geometric square	澤 野 諒 和
	甲州印伝	ワインバッグ	芹 澤 依 子

全国伝統的工芸品公募展における出品工芸品の業種別内訳

業種	指定	非指定	産地計	出品数	前年度比
織 物	13	5	18	29	1
染色品	4	1	5	9	-5
その他 繊維製品	1	2	3	3	-1
陶磁器	8	3	11	29	5
漆 器	11	3	14	31	1
木工品	5	6	11	16	3
竹工品	2	1	3	5	4
金工品	6	1	7	15	1
仏壇・仏具	4	2	6	7	4
和紙	1	0	1	2	0
文具	2	0	2	2	1
貴石細工	1	0	1	1	0
人形・こけし	2	0	2	4	-3
諸工芸品	6	10	16	21	3
材料・用具	1	0	1	1	0
合 計	67	34	101	175	11

指定＝経済大臣指定伝統的工芸品、非指定＝経済大臣指定を受けていない工芸品

## 2) フォーラム等事業

伝統的工芸品の「技や素材」を活かして、現代のニーズにマッチする新しい商品づくりを支援するため、「作り手」と、さまざまな分野の外部専門家とが参加する8産地8研究会を設置して、新商品を開発した。昨年度に引き続き「インテリアライフスタイル展」に参加したことにより、メディアの取材を受けてPRに結びつけたほか、流通関係者にアピールすることにより、販売取扱い先をひろげ、百貨店等のバイヤーからも出展者に対しコンタクトがあるなど幅広く販売・PRの機会を得た。

- ① 交流会 参加希望者相互に情報を提供し、互いに「新しい商品づくり」の協力者を探す期間を設定。交流会を開催して作り手とパートナー希望者の情報交換・相互交流を行った。

参 加 34社（作り手：15社、パートナー候補：19社）

日時場所 30.6.29（金） 於：協会

- ② 審査委員会

委員	熊田剛祐	株式会社東屋代表
	島村卓実	株式会社クルツ 代表取締役
	高山泰子	One be One マネージングディレクター
	長山智美	インテリアスタイリスト
	廣川玉枝	SOMA DESIGN ファッションデザイナー
	山田遊	株式会社メソッド代表取締役
	吉田龍太郎	株式会社プレステージジャパン代表取締役
	渡邊真典	有限会社クロスエッジ代表取締役

(50音順・敬称略)

期日	第1回	30. 7. 31 (火)	於：協会
	第2回	30. 10. 18 (火)	於：協会
			第1回中間報告会を行った。 開発中の製品について各研究会から中間報告を行い、各研究会に対して委員のコメントを取りまとめ連絡した。
	第3回	30. 12. 13 (木)	於：協会
			第2回中間報告会を行った。 開発中の製品について各研究会から提出された中間報告資料を基に審査を行い、各研究会に対して委員のコメントを取りまとめ連絡した。

③ 成果発表会 デザイナー・バイヤー・プレス関係者を招いて成果発表会を行った。

日時	31. 2. 22 (金)	16:00~18:00	於：協会
	来場者	12人 (デザイナー・バイヤー)	

④ インテリアライフスタイル TOKYO への出展

会期	30. 5. 30 (水) ~ 6. 1 (金)
会場	東京ビッグサイト
出展	7件 (7産地) 約40点

⑤ 青山スクエアでの紹介

	常設展において年間を通じて成果品を来場者に紹介した。(3ヶ月毎入替)
出展	7件 (5産地)

### 3) 伝統的工芸品普及・展示等事業

伝統的工芸品の普及啓発を推進する目的で、関東甲信越静地区の伝統的工芸品を集めた「関東ブロック伝統的工芸品展 2018」を開催した。

共催	関東ブロック伝産事業実行委員会
後援	関東経済産業局、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県、静岡県
会期	30. 11. 23 (金) ~ 11. 25 (日)
会場	羽田空港国際線旅客ターミナルビル 4階、5階
内容	管内32産地の伝統的工芸品の展示、制作実演等

### 4) 海外展開支援等事業

伝統的工芸技術を活用した商品の海外市場開拓を目指す事業。

伝統的工芸品産業製品及び製造者が日本の高品質な商品の魅力や、歴史・文化を背景とした独自性を、常設ショールーム、海外見本市等を通じ、世界へ発信した。

主に欧米全体へのトレンド発信地でもあるフランス・パリにおいて伝産協会の欧州における拠点として開設したショールームでは、出展者が主体となり自ら市場関係者との商談に参加する機会も設け、またより多くの方々に伝統的工芸品への理解を深めていただくため、作り手の実演や講演など、様々

なイベントを企画し、現地バイヤー、メディア等への訴求力を高める取り組みを展開した。

また海外展示会では、継続的に出展しているアンビエンテのほか、中国市場の調査を新たに行った。

### ① ESPACE DENSAN

平成28年10月に欧州の拠点として設立したショールーム ESPACE DENSAN において、海外の新たな販路を広げるため、BtoB の本格的な取り組みを強化した。平成30年度は4つのテーマを基に期間を区切って産地事業者を募り、各期間2～3事業者が参加した。

また、ショールーム内では伝統技術や商材への理解を深めるために作り手の実演や講演など様々なイベントを企画し、併せて現地バイヤー・メディア等への訴求力を高める取り組みや、外部への営業活動も行った。また外部施設でのイベントを併せて実施することで新たな顧客層の獲得に努めた。

#### a. ESPACE DENSAN

会 期	30. 4. 2 (月) ~ 31. 3. 30 (土)
出展状況	4 ~ 5月 「Ambiente2018 特集」(12事業者)
	6 ~ 8月 「独特な素材感」京鹿の子絞、輪島塗
	9 ~ 11月 「TEWAZA-匠の技と美-」西陣織、東京染小紋、備前焼
	11 ~ 1月 「木でつくられる和の空間」鎌倉彫、南木曾ろくろ細工
	2 ~ 3月 「類い稀なマチエール」高岡銅器、肥後象がん、三州鬼瓦工芸品

#### b. ジャポニスム 2018

日仏友好160周年を記念したイベント「ジャポニスム2018」と連携し、多様性のある日本の技術を実演、ワークショップ、講演会などを行い、紹介しました。

会 期	第1回 30. 9. 15 (土) ~ 22 (土)
	第2回 30. 11. 17 (土) ~ 24 (土)
会 場	第1回 パリ日本文化会館
	第2回 ESPACE DENSAN

### ② Ambiente アンビエンテ 2019/国際消費財見本市

ドイツ・フランクフルトで毎年開催される世界最大級の国際見本市に出展。「DENSAN」としてブースを設け、日本の伝統的工芸品が持つ巧妙さ、優雅さ、美しさを、厳選された11の事業者を通して紹介。それらを作り出す産地を広くヨーロッパのマーケットへ発信するとともに、海外ビジネスの実践の場として多くのバイヤーとの商談機会を得た。

会 期	31. 2. 8 (金) ~ 12 (火) 5日間
会 場	ドイツ・フランクフルト国際見本市会場
ブ ー ス	Hall8.0 M55

参加事業者

Magnetic Pole (秩父銘仙)	織元酒井織物有限公司 (本塩沢)
渡文 株式会社 (西陣織)	悠游舎有限公司 (美濃焼)
有限会社 鎌倉彫山水堂 (鎌倉彫)	株式会社 うるしアートはりや (山中漆器)
輪島塗ぬり工房 楽 (輪島塗)	有限会社 鑄心ノ工房 (山形鑄物)
広島筆産業株式会社 (熊野筆)	弘誠堂 (京表具) 平戸洗祥団右エ門窯 (三川内焼)

### ③ 中国テストマーケティング

近年高い関心を寄せられている中国において、伝統的工芸品の需要拡大と、海外における情報収集を目的として、伝統的工芸品に対する需要実態動向を調査する展示会を実施した。

[第1回目]

会 期	上海 30. 12. 8 (土) ~ 23 (日)
	北京 30. 12. 29 (土) ~ 31. 1. 10 (木)
	重慶 31. 1. 17 (木) ~ 29日 (火)
会 場	上海 M50 创意园 八大画廊
	北京 太阳艺术空间
	重慶 金山意库文化创意产业园

〔第2回目〕

会 期	重慶	31. 2. 16 (土) ~ 28 (木)
	上海	31. 3. 2 (土) ~ 10 (日)
会 場	重慶	金山意库文化创意产业园 渝北区汇通路1号夏布中心
	上海	上海外文书店黄浦区福州路390号上海外文书店3楼

5) 有力団体・企業との連携の推進

- ① 三井広報委員会が実施する「三井ゴールデン匠賞」の募集告知、候補者推薦、受賞者広報に協力した。
- ② 一般財団法人大日本蚕糸会に対し、指定産地の中から絹産業振興に貢献した方を推薦した。
- ③ 2020オリンピック・パラリンピック組織委員会の「メダルストラップ」「メダルケース」「賞状」選定第1次審査会委員として協力した。
- ④ 2020オリンピック・パラリンピック ライセンシング商品開発募集告知に協力した。

5. その他の振興事業

同一業種あるいは、全国の工芸品振興拠点である伝産会館等による情報交換等を目的に、それぞれの団体において下記のとおり開催され、当協会は側面的に支援し、連携の促進に努めた。

1) 日本伝統工芸士会

- ① 産地伝統工芸士会会長会議（総会）の開催  
30. 6. 12 (火) 於：ホテルメトロポリタン（東京都豊島区）
- ② 第37回全国伝統工芸士大会の開催  
30. 11. 1 (木) 於：ホテルオークラ福岡（福岡県福岡市）
- ③ 第5回日本伝統工芸士会秀作展の開催  
31. 3. 7 (木) ~ 12 (火) 於：東武百貨店池袋店（東京都豊島区）

2) 全国伝産会館連絡協議会

- 運営検討会の開催  
31. 1. 31 (金) 於：協会

3) 全国伝統的工芸品仏壇仏具組合連合会

- ① 総会の開催  
30. 7. 3 (月) 於：協会
- ② エンディング産業展への参加  
30. 8. 22 (水) ~ 24 (金) 於：東京ビッグサイト（東京都江東区）  
30. 11. 14 (水) ~ 16 (金) 於：インテックス大阪（大阪府大阪市）

4) 自由民主党伝統的工芸品産業振興議員連盟総会への出席、要望

30. 12. 20 (木) 於：衆議院議員第2議員会館

## II. 法人の概況

### 1. 設立年月日

平成23年5月26日

### 2. 定款に定める目的

この法人は、伝統的工芸品産業の振興を図り、もって国民の生活に豊かさと潤いを与えるとともに地域経済の発展に寄与し、国民経済の健全な発展に資することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- 1) 伝統的工芸品の製造の事業に関する経営の改善及び合理化その他当該事業の健全な経営に関し、調査、研究及び指導を行うこと。
- 2) 展示会の開催その他需要の開拓を行うこと。
- 3) 会員に対し、伝統的工芸品に関する需要の状況、製造の技術又は技法、原材料等について情報の提供を行うこと。
- 4) 伝統的工芸品産業に関する振興計画及び共同振興計画の作成及びその実施について指導、助言等を行うこと。
- 5) 伝統的工芸品の原材料、製造過程、品質等の改善に関する研究を行うこと。
- 6) 伝統的工芸品及び伝統的工芸品を素材とした製品の品質表示について指導、助言等を行うこと。
- 7) 伝統的工芸品に関する資料の収集及び調査を行うこと。
- 8) 伝統的な技術又は技法に熟練した従事者の認定を行うこと。
- 9) 伝統的工芸品産業に関する活性化事業、連携活性化事業及び支援事業の実施に必要な情報の提供を行うこと。
- 10) 伝統的工芸品産業の後継者の育成、技術・技法の継承及び改善に関する事業を行うこと。
- 11) 伝統的工芸品及び伝統的工芸品に関連する物品の販売の事業を行うこと。
- 12) その他この法人の目的を達成するため、必要な事業を行うこと。

### 4. 会員の状況

会 員	31.3.31現在	30.3.31現在
産地組合	236	234
団 体	42	45
企業・個人	132	133
都府県・政令市	56	56
市区町村	117	118
合 計	583	586

### 5. 主たる事務所の状況

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目1番22号

### Ⅲ. 役員会等に関する事項

#### 1. 理事会の開催

##### 1) 第37回理事会

開催日	30. 6. 4 (月)
会場	当協会会議室
出席理事	14名
議案	第1号議案 理事の退任及び補充候補の選出 第2号議案 副代表理事辞任に伴う業務執行理事の補充選出 第3号議案 平成29年度伝産協会事業報告及び収支決算 第4号議案 公益目的支出計画実施状況報告 第5号議案 規程の改定(臨時雇員採用規程、組織規程) 第6号議案 産地連絡会議員の選定
報告事項	(1) 平成29年度 青山スクエア年次報告 (2) 平成29年度 理事会交流会収支決算報告 (3) 平成31年度伝統的工芸品月間全国大会開催地 (4) オリンピック・パラリンピック工芸品活用提案内容 (5) 平成29年度 出品者協議会収支決算報告

##### 2) 第38回理事会(書面審議)

開催日	30. 9. 18 (火)(議案送付日)
議案	第1号議案 評議員選定委員会外部委員の選任 第2号議案 常勤理事報酬表の改定 第3号議案 常勤理事報酬額の改定

##### 3) 第39回理事会

開催日	30. 11. 2 (金)
会場	マリンメッセ福岡 2階「会議室1」
出席理事	10名
議案	第1号議案 非常勤理事候補者選定内規の改定 第2号議案 役員等の在任期間等に関する規程の改定 議案外提案 伝統工芸士制度の改定案(称号のブランド強化案)
報告事項	(1) 書面理事会審議事項の結果 (2) 産地連絡会議員の選任・出欠状況

##### 4) 第40回理事会

開催日	31. 3. 13 (水)
会場	当協会会議室
出席理事	13名
議案	第1号議案 平成31年度 事業計画案 第2号議案 平成31年度 収支予算案 第3号議案 職員給与規程の改定 第4号議案 評議員、理事、監事の任期満了に伴う改選案 第5号議案 伝統工芸士認定制度の改定 第6号議案 決算理事会の開催 第7号議案 定時評議員会の開催



- 報告事項 (1) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会福岡大会  
(2) フォーラム事業  
(3) 全国伝統的工芸品公募展  
(4) 産地向けセミナー  
(5) 伝統的工芸品展 WAZA (東武百貨店) 速報

## 2. 評議員会の開催

第14回評議員会

開催日 30. 6. 19 (木)

会場 当協会会議室

出席評議員 6名

議案 第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 理事の辞任及び補充理事の選任について

報告事項 (1) 平成29年度公益目的支出計画実施報告について

(2) 平成29年度 青山スクエア年次報告について

(3) 平成29年度出品者協議会収支決算報告について

## 3. 平成30年度伝統的工芸品産地連絡会議の開催

開催日 30. 9. 26 (水)

会場 弘済会館4階会議室「萩」

協会説明 (1) 伝産協会の業務報告

(2) 出席者からの産地現状報告、意見交換

## 4. 業務執行会議の開催

30. 4. 10 (火)

30. 5. 18 (金)

30. 7. 19 (木)

30. 9. 26 (水)

31. 1. 18 (金)

31. 2. 21 (木)

#### IV. 庶務事項

##### 1. 基本財産の造成

※下記1)、2)の表の金額は、時価評価ではなく、実際にご入金いただいた金額を記載

##### 1) 基本財産の内訳

単位：円

区 分	平成 30 年度	昭和 50 年度～平成 29 年度	累 計
国	0	300,000,000	300,000,000
地方公共団体	0	295,000,000	295,000,000
民間	240,000	185,695,000	185,935,000
伝統的工芸品産業振興協会	0	860,000	860,000
計	240,000	781,555,000	781,795,000

##### 2) 民間寄付金・負担金の業種別状況

単位：円

業種	平成 30 年度		昭和 50 年度～平成 29 年度		累 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
織 物	0	0	41	32,600,000	41	32,600,000
染色・繊維製品	0	0	27	11,440,000	27	11,440,000
陶磁器	1	200,000	39	12,850,000	40	13,050,000
漆 器	0	0	25	7,690,000	25	7,690,000
木竹品	0	0	35	10,500,000	35	10,500,000
金工品	0	0	21	5,000,000	21	5,000,000
仏 壇	0	0	18	5,425,000	18	5,425,000
和紙・文具	0	0	31	4,750,000	31	4,750,000
諸工芸品	1	40,000	43	8,300,000	44	8,340,000
銀行等	0	0	9	75,000,000	9	75,000,000
団体・個人	0	0	29	12,140,000	29	12,140,000
計	2	240,000	318	185,695,000	320	185,935,000

##### 2. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位：百万円

事業年度	31年3月期	30年3月期	29年3月期	28年3月期	27年3月期	26年3月期
前期繰越収支差額	42	43	15	16	9	17
当期収入合計	974	1,009	1,041	1,002	965	804
当期支出合計	992	1,010	1,013	1,003	958	812
当期収支差額	△18	△1	28	△1	7	△8
次期繰越収支差額	24	42	43	15	16	9
資産合計	1,010	1,027	1,019	1,026	990	997
負債合計	142	154	143	149	140	166
正味財産	868	873	876	877	850	831

### 3. その他の庶務事項

#### 1) 登記

30. 4. 5 理事の補充  
30. 10. 4 理事の変更

#### 2) 監事監査

30. 6. 1 平成 29 年度事業及び決算に対する監査

#### 3) 補助金監査等

30. 4. 19、20、23 平成 29 年度補助金確定監査（経済産業省）  
30. 5. 10、11、14～16 平成 29 年度収支決算についての調査（岡部公認会計士事務所）

#### 4) 報告

30. 6. 21 内閣総理大臣宛 公益目的支出計画実施報告書提出（電子申請）

#### 5) 国庫補助金関係手続

30. 3. 27 平成 30 年度交付申請  
30. 4. 2 平成 30 年度交付決定  
30. 4. 10 平成 29 年度実績報告  
30. 5. 10 平成 30 年度第 1 回概算払請求  
30. 5. 21 平成 29 年度補助金額確定  
30. 5. 25 平成 30 年度第 1 回交付 70,000,000 円  
30. 7. 24 平成 30 年度第 1 四半期報告  
30. 7. 24 平成 30 年度第 2 回概算払請求  
30. 8. 3 平成 30 年度第 2 回交付 130,000,000 円  
30. 11. 7 平成 30 年度第 2 四半期報告  
30. 11. 7 平成 30 年度第 3 回概算払請求  
30. 11. 14 平成 30 年度第 3 回交付 200,000,000 円  
31. 1. 22 平成 30 年度第 3 四半期報告  
31. 1. 22 平成 30 年度第 4 回概算払請求  
31. 2. 1 平成 30 年度第 4 回交付 100,000,000 円  
31. 2. 8 平成 30 年度計画変更承認申請  
31. 2. 19 平成 30 年度計画変更承認  
31. 3. 14 平成 30 年度第 5 回概算払請求  
31. 3. 22 平成 30 年度第 5 回交付 200,000,000 円

#### 4. 会員名簿 (583)

○会員名簿(順不同)31.3.31現在

指定品の産地組合(236)※2業種に同じ産地組合

##### <織物>(38)

二風谷民芸組合※  
置賜紬伝統織物協同組合  
羽越しな布振興協議会  
昭和村からむし後継者育成協議会  
茨城県本場結城紬織物協同組合  
栃木県本場結城紬織物協同組合  
伊勢崎織物工業組合  
桐生織物協同組合  
秩父銘仙協同組合  
村山織物協同組合  
黄八丈織物協同組合  
八王子織物工業組合  
塩沢織物工業協同組合  
小千谷織物同業協同組合  
十日町織物工業協同組合  
長野県織物工業組合  
石川県牛首紬生産振興協同組合  
滋賀県麻織物工業協同組合  
西陣織工業組合  
鳥取県弓浜緋協同組合  
阿波しじら織協同組合  
博多織工業組合  
久留米緋協同組合  
都城絹織物事業協同組合  
鹿児島県本場大島紬協同組合連合会  
本場奄美大島紬協同組合  
本場大島紬織物協同組合  
鹿児島県絹織物工業組合  
久米島紬事業協同組合  
宮古織物事業協同組合  
読谷山花織事業協同組合  
琉球緋事業協同組合  
那覇伝統織物事業協同組合  
与那国町伝統織物協同組合  
喜如嘉芭蕉布事業協同組合  
竹富町織物事業協同組合  
石垣市織物事業協同組合  
知花花織事業協同組合

##### <染色>(17)

東京都染色工業協同組合

東京都工芸染色協同組合  
協同組合加賀染振興協会  
愛知県絞工業組合  
名古屋友禅黒紋付協同組合連合会  
京鹿の子絞振興協同組合  
京都絞工業協同組合  
京友禅協同組合連合会  
京都友禅協同組合  
京都誂友禅工業協同組合  
京都工芸染匠協同組合  
京都手描友禅協同組合  
京都黒染工業協同組合  
京都紋章糊置協同組合  
京都紋章工芸協同組合  
京都染色補正工業協同組合  
琉球びんがた事業協同組合

##### <繊維その他>(4)

石川県加賀刺繍協同組合  
三重県組紐協同組合  
京都刺繍協同組合  
京くみひも工業協同組合

##### <陶磁器>(31)

大堀相馬焼協同組合  
会津本郷焼事業協同組合  
笠間焼協同組合  
益子焼協同組合  
石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会  
とこなめ焼協同組合  
美濃焼伝統工芸品協同組合  
赤津焼工業協同組合  
瀬戸染付焼工業協同組合  
三州鬼瓦製造組合  
萬古陶磁器工業協同組合  
伊賀焼振興協同組合  
越前焼工業協同組合  
信楽陶器工業協同組合  
京都陶磁器協同組合連合会  
丹波立杭陶磁器協同組合  
出石焼陶友会  
石見陶器工業協同組合  
協同組合岡山県備前焼陶友会  
萩陶芸家協会  
大谷焼陶業協会  
砥部焼協同組合  
小石原焼陶器協同組合

上野焼協同組合  
佐賀県陶磁器工業協同組合唐津焼協同組合  
三川内陶磁器工業協同組合  
波佐見陶磁器工業協同組合  
小代焼窯元の会  
天草陶磁振興協議会  
鹿児島県薩摩焼協同組合  
壺屋陶器事業協同組合

### ＜漆器＞(22)

青森県漆器協同組合連合会  
岩手県漆器協同組合  
鳴子漆器協同組合  
秋田県漆器工業協同組合  
会津漆器協同組合  
伝統鎌倉彫事業協同組合  
伝統小田原漆器組合  
村上堆朱事業協同組合  
新潟市漆器同業組合  
木曾漆器工業協同組合  
伝統工芸高岡漆器協同組合  
輪島漆器商工業協同組合  
山中漆器連合協同組合  
金沢漆器商工業協同組合  
飛騨春慶連合協同組合  
越前漆器協同組合  
若狭漆器協同組合  
京都漆器工芸協同組合  
紀州漆器協同組合  
大内塗漆器振興協同組合  
香川県漆器工業協同組合  
琉球漆器事業協同組合

### ＜木工品・竹工品＞(31)

二風谷民芸組合※  
岩谷堂箆笥生産協同組合  
仙台箆笥協同組合  
角館工芸協同組合  
大館曲げわっぱ協同組合  
秋田杉桶樽協会  
奥会津三島編組品振興協議会  
春日部桐たんす組合  
江戸指物協同組合  
江戸和竿組合  
小田原箱根伝統寄木協同組合  
静岡竹工芸協同組合  
加茂箆笥協同組合

松本家具工芸協同組合  
南木曾ろくろ工芸協同組合  
名古屋桐箆笥工業協同組合  
飛騨一位一刀彫協同組合  
井波彫刻協同組合  
越前指物組合  
京都木工芸協同組合  
大阪欄間工芸協同組合  
大阪唐木指物協同組合  
大阪泉州桐箆笥製造協同組合  
大阪簾工業協同組合  
兵庫県杞柳製品協同組合  
奈良県高山茶筌生産協同組合  
紀州桐箆笥協同組合  
紀州製竿組合  
宮島細工協同組合  
別府竹製品協同組合  
都城弓製造業協同組合

### ＜金工品＞(16)

岩手県南部鉄器協同組合連合会  
山形鑄物伝統工芸組合  
千葉県打刃物連絡会  
東京金銀器工業協同組合  
東京アンチモニー工芸協同組合  
燕銅器工芸組合  
越後与板打刃物組合  
越後三条鍛冶集団  
信州打刃物工業協同組合  
伝統工芸高岡銅器振興協同組合  
越前打刃物産地協同組合連合会  
堺刃物商工業協同組合連合会  
錫器事業協同組合  
三木工業協同組合  
高知県土佐刃物連合協同組合  
肥後象がん振興会

### ＜仏壇・仏具＞(16)

山形県仏壇商工業協同組合  
新潟仏壇組合  
白根佛壇協同組合  
長岡地域仏壇協同組合  
三条・燕・西蒲仏壇組合  
飯山仏壇事業協同組合  
金沢仏壇商工業協同組合  
七尾仏壇協同組合  
名古屋仏壇商工協同組合

三河仏壇振興協同組合  
彦根仏壇事業協同組合  
京都府仏具協同組合  
大阪宗教用具商工協同組合  
広島宗教用具商工協同組合  
八女福島仏壇仏具協同組合  
鹿児島県川辺仏壇協同組合

**<和紙> (9)**

内山紙協同組合  
富山県和紙協同組合  
美濃手すき和紙協同組合  
福井県和紙工業協同組合  
鳥取県因州和紙協同組合  
石州和紙協同組合  
阿波手漉和紙商工業協同組合  
大洲手すき和紙協同組合  
高知県手すき和紙協同組合

**<文具> (12)**

雄勝硯生産販売協同組合  
豊橋筆振興協同組合  
鈴鹿製墨協同組合  
播州算盤工芸品協同組合  
兵庫県木珠事業協同組合  
播州算盤製造業組合  
奈良毛筆協同組合  
奈良製墨組合  
雲州算盤協同組合  
熊野筆事業協同組合  
川尻毛筆事業協同組合  
山口県赤間硯生産協同組合

**<石工品・貴石細工> (7)**

真壁石材協同組合  
山梨県水晶美術彫刻協同組合  
岡崎石製品協同組合連合会  
京都府石材業協同組合  
鳥取県石灯籠協同組合  
松江石灯ろう協同組合  
来待石灯ろう協同組合

**<人形・こけし> (9)**

鳴子木地玩具協同組合  
遠刈田伝統こけし組合  
弥治郎こけし業協同組合  
仙台地区伝統こけし工人組合

東京都雛人形工業協同組合  
岩槻人形協同組合  
駿河雛人形伝統工芸士会  
京人形商工業協同組合  
博多人形商工業協同組合

**<諸工芸品> (22)**

山形県将棋駒協同組合  
房州うちわ振興協議会  
江戸からかみ協同組合  
江戸切子協同組合  
東京伝統木版画工芸協同組合  
一般社団法人東部硝子工業会  
東京鼈甲組合連合会  
甲府印伝商工業協同組合  
山梨県印章店協同組合  
岐阜提灯協同組合  
七宝町七宝焼生産者協同組合  
名古屋七宝協同組合  
越中福岡の菅笠振興会  
京都扇子団扇商工協同組合  
京表具協同組合連合会  
播州釣針協同組合  
福山邦楽器製造業協同組合  
香川県うちわ協同組合連合会  
八女提灯協同組合  
長崎鼈甲組合連合会  
山鹿灯籠振興会  
沖縄県三線製作事業協同組合

**<工芸用具・工芸材料> (3)**

庄川木工協同組合  
石川県箔商工業協同組合  
伊勢形紙協同組合

指定品以外の組合・団体・企業(176)

**<商工会議所> (6)**

東京商工会議所  
十日町商工会議所  
彦根商工会議所  
京都商工会議所  
広島商工会議所  
福岡商工会議所

**<団体> (36)**

伊予手抄和紙振興会  
協同組合瀬戸内ファニチャー

(一財)京都伝統工芸産業支援センター  
(公財)京都伝統産業交流センター  
京都伝統産業青年会  
京都陶磁器卸商業協同組合  
(一財)京都陶磁器協会  
(一財)熊本県伝統工芸館  
黒谷和紙振興会  
(一財)経済産業調査会  
埼玉県小川和紙工業協同組合  
(一財)省エネルギーセンター  
全国染色協同組合連合会  
全国伝産会館運営連絡協議会  
全国伝産金工品組合協議会  
全国伝産陶磁器組合協議会  
全国伝産和紙筆墨硯組合協議会  
全国伝統的工芸品仏壇仏具組合連合会  
全国籐商工業連合会  
(一社)全日本きもの振興会  
(一財)大日本蚕糸会  
(公財)高岡地域地場産業センター  
(一財)地域伝統芸能活用センター  
伝統的工芸品出品者協議会  
東京都漆器商工業協同組合  
奈良県工芸協会  
奈良製墨協同組合  
日本漆器協同組合連合会  
(公社)日本図案家協会  
日本伝統工芸士会  
(一社)日本伝統染色工芸保存協会  
(一財)日本陶業連盟  
(一社)日本人形協会  
福岡県伝統的工芸品振興協議会  
三井広報委員会  
映画デンサン実行委員会

#### <銀行> (5)

住友信託銀行(株)  
(一社)全国地方銀行協会  
三菱信託銀行(株)  
(株)三菱東京 UFJ 銀行  
(株)りそな銀行

#### <企業・個人> (127)

(株)相澤企画  
(株)愛知印刷工業  
(有)愛知屋総本店  
(株)愛知屋佛壇本舗

阿久澤宏一郎  
(株)アクトエージェンシー  
浅井仏壇店  
(株)浅野商店  
アスクール(株)  
荒井伸二  
泉屋(株)  
(株)和泉利器製作所  
一和堂工芸(株)  
井上スダレ(株)  
(有)井上彦兵衛商店  
(株)伊保石匠社  
今井崇子  
岩手県産(株)  
(株)岩野平三郎製紙所  
(有)岩谷堂家具センター  
(株)印伝屋 上原勇七  
(株)永楽屋  
(株)エムアンドビーデザイン  
大阪錫器(株)  
大阪仏壇仏具センター(株)越前屋  
大澤美術鑄造所  
大淵木芸  
(株)オゼキ  
(有)家具のあづま  
(株)笠井仏壇工芸  
(株)学研教育出版  
(有)カネキン小椋製盆所  
川合康夫  
川嶋信之  
(株)岸タンス店  
岐津(株)きづな堂  
木下らんま店  
(有)桐の蔵  
近畿日本ツーリスト(株)関東営業本部  
(株)久保田号  
(株)熊木  
(株)弘報社  
小出大佛本店  
(株)幸修園  
河野打刃物 河野忠喜  
(有)工房田中  
(有)近藤仏壇店  
佐藤哲夫  
(有)さとくガーデン  
(株)三和エフエムデザイン  
(株)C.A.L.

(株)シガ木工茂木団扇  
(有)茂野タンス店  
漆器山富(有)漆芸しばた  
(株)シメノ  
(有)進誠堂  
(株)杉浦仏壇店  
(株)鈴木佛壇店  
誠心堂  
(株)西武百貨店  
(株)世界文化社  
(株)ソーゴブレイン  
(株)大黒屋佛壇店  
(株)ダイヤモンド社  
田上民芸  
高辻康弘  
(株)高橋新吾タンス店  
詫間宝石彫刻  
(有)竹ふえ  
(株)田中家具製作所  
(株)箆笥の松本  
(株)つかもと  
土山健介  
露木啓雄  
テレビ朝日映像(株)  
(株)東武百貨店  
東北電力(株)  
東洋佐々木ガラス(株)  
TOTO(株)  
(株)東レ経営研究所  
(株)トンナ佛宝堂  
永井長吉タンス店  
中澤唐木(株)  
(有)中島徽章  
ナカダ(株)  
(有)永田刃物  
(株)永田屋仏壇店  
(株)ナビバード  
成田商事(株)  
日中民間工芸家友好促進会(株)  
日本文教出版(株)  
(有)にんぎょっ子  
HITAC情報サービスネットワーク協議会  
橋本屋仏壇店  
(株)ビータス  
(有)ひでや  
(有)廣川仏壇店  
FolkVisual Japan

(株)福宝  
(株)藤木伝四郎商店  
(有)ブレインカフェ  
ホクエツ印刷(株)  
(株)毎日映画社  
(株)真多呂人形  
(株)マネジメントパートナーズ  
(株)まほろ印工  
(株)三越日本橋本店  
光村図書出版(株)  
(株)三村松  
(株)宮岸仏具  
メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)  
モテギ(株)  
望月一宏  
(株)森繁  
森谷大仏堂  
柳田昌信  
(株)山谷産業  
(株)やまと  
(有)山本石材店  
ユーシーカード(株)  
(株)郵趣サービス社  
(株)米永  
(株)Ryu Gin Japan  
(有)蓮華堂  
(株)若山仏壇店  
渡邊恒子



<地方自治体> (173)

青	森	県	箱	根	町	輪	島	市	徳	島	県
弘	前	市	新	湯	県	七	尾	市	吉	野	市
岩	手	市	新	湯	市	加	賀	市	香	川	市
盛	岡	市	村	上	市	能	美	市	高	松	市
奥	州	市	加	茂	市	白	山	市	丸	亀	市
宮	城	市	小	千	市	福	井	市	愛	媛	市
仙	台	市	燕	谷	市	小	浜	市	砥	部	市
白	石	市	三	条	市	鯖	江	市	内	子	市
石	巻	市	十	日	市	越	前	市	高	知	市
大	崎	市	南	魚	市	越	前	市	い	の	市
蔵	王	市	長	野	市	滋	賀	市	福	岡	市
秋	田	市	飯	山	市	彦	根	市	福	岡	市
大	館	市	塩	尻	市	甲	賀	市	八	女	市
湯	沢	市	南	木	市	京	都	府	久	留	市
仙	北	市	山	梨	市	京	都	府	東	米	市
山	形	市	甲	府	市	大	阪	府	佐	賀	市
米	沢	市	静	岡	市	大	阪	市	伊	万	市
福	島	市	静	岡	市	大	阪	市	唐	津	市
会	津	市	愛	知	市	岸	和	市	有	田	市
浪	江	市	名	古	市	兵	田	市	長	崎	市
会	美	市	常	滑	市	小	庫	市	佐	保	市
三	島	市	豊	橋	市	西	野	市	波	見	市
茨	城	市	瀬	戸	市	三	脇	市	熊	本	市
結	城	市	岡	崎	市	篠	山	市	熊	本	市
笠	間	市	あ	ま	市	豊	岡	市	山	鹿	市
桜	川	市	岐	阜	市	奈	良	市	大	分	市
栃	木	市	高	山	市	生	駒	市	別	府	市
小	山	市	土	岐	市	奈	良	市	宮	崎	市
益	子	市	多	見	市	和	山	市	都	城	市
群	馬	市	美	濃	市	海	南	市	鹿	児	市
伊	勢	市	岐	阜	市	和	山	市	鹿	島	市
桐	生	市	三	重	市	鳥	取	市	奄	美	市
埼	玉	市	鈴	鹿	市	島	根	市	南	九	市
さ	い	市	四	日	市	浜	田	市	冲	縄	市
春	日	市	伊	賀	市	奥	出	市	那	覇	市
秩	父	市	菰	野	市	岡	山	市	石	垣	市
千	葉	市	富	山	市	備	前	市	宮	古	市
東	京	都	富	岡	市	真	庭	市	与	那	市
武	蔵	市	高	波	市	広	島	市	南	風	市
八	丈	市	砺	波	市	廿	日	市	久	米	市
神	奈	市	南	砥	市	熊	野	市	詭	谷	市
鎌	倉	市	朝	日	市	山	口	市	大	宜	市
小	田	市	石	川	市	宇	口	市		味	市

## 5. 平成30年度作成資料等一覧

### 1) 実施要領等

伝統工芸士試験受験要領  
伝統工芸士認定事業試験実施の手引き  
伝統工芸士認定事業事務処理解説書  
伝統工芸士読本(研修・試験テキスト)  
伝統工芸士研修会実施要領  
児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業実施要領  
伝統的工芸ふるさと体験・交流事業実施要領  
新規従事者指導支援事業実施要領  
伝統工芸青山スクエア出品のご案内  
伝統的工芸品月間国民会議全国大会式典プログラム  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2018 開催要綱  
伝統工芸ふれあい広場・福岡 開催骨子  
全国くらしの工芸展・福岡 開催要項  
伝統的工芸品展 WAZA2019 開催要綱  
伝統的工芸品展 WAZA2019 出品の手引き  
全国伝統的工芸品公募展応募要項  
フォーラム事業実施要領  
外国人による伝統的工芸品産地紹介事業実施要領  
インバウンド事業実施要領  
ESPACE DENSAN 出品の手引き  
Ambiente2018 出品の手引き

### 2) 報告書

伝統工芸士認定事業報告書  
児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業報告書  
伝統的工芸ふるさと体験・交流事業報告書  
新規従事者指導支援事業報告書  
伝統的工芸品月間国民会議全国大会報告書  
伝統工芸ふれあい広場・福岡報告書  
全国伝統的工芸品展・福岡報告書  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK2018 報告書  
伝統的工芸品展 WAZA2019 報告書  
全国伝統的工芸品公募展報告書  
Ambiente アンビエンテ 2019 報告書  
フランス・パリ ESPACE DENSAN 活動報告  
フォーラム事業報告書  
伝統的工芸品伝え手育成事業報告書

### 3) ポスター・パンフレット・書籍等

伝統工芸士試験ポスター  
伝統工芸青山スクエア特別展 DM  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2018 ポスター  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2018 パンフレット  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2018 リーフレット

伝統工芸ふれあい広場・福岡パンフレット  
伝統的工芸品展 WAZA 2019 ポスター  
伝統的工芸品展 WAZA 2019 チラシ  
伝統的工芸品展 WAZA 2019 外国人向けパンフレット(英語版・繁体字版・簡体字版)  
伝統的工芸品展 WAZA 2019 DM  
全国伝統的工芸品公募展作品募集ポスター  
全国伝統的工芸品公募展チラシ  
伝統工芸青山スクエアサインパネル  
伝統工芸青山スクエアパンフレット(中国語版)  
伝統工芸青山スクエアショップカード(日本語版・英語版)  
伝統的工芸品イラストマップ 232 品目版(日・英)  
伝統的工芸品和英文パンフレット(Traditional Crafts of Japan)232 品目版  
ESPACE DENSAN ショールームパンフレット  
Ambiente2019 出展パンフレット  
伝統工芸青山スクエアメロナビマップ  
東京メロ半蔵門線 青山一丁目駅 電飾看板  
青山ツインビル内 青山スクエア案内ポスター(展示会スケジュール入り)

### 事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は作成していない。

# 平成30年度 収支決算書

## I. 財務諸表

1. 貸借対照表 .....	3 5
2. 正味財産増減計算書 .....	3 6 ~ 4 0
3. 財産目録 .....	4 1
4. 財務諸表に対する注記 .....	4 2 ~ 4 5
5. 附属明細書 .....	4 6

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	472,597	333,062	139,535
貯蔵品	1,412,585	1,989,110	△ 576,525
銀行預金	75,082,032	117,666,301	△ 42,584,269
未収金	18,248,343	12,619,535	5,628,808
前払金	357,780	395,600	△ 37,820
仮払金	3,996,018	477,232	3,518,786
流動資産合計	99,569,355	133,480,840	△ 33,911,485
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	559,757,000	551,138,000	8,619,000
銀行預金	223,696,500	223,456,500	240,000
基本財産合計	783,453,500	774,594,500	8,859,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	61,069,638	52,003,182	9,066,456
運営強化基金資産	50,000,000	50,000,000	0
特定資産合計	111,069,638	102,003,182	9,066,456
(3) その他の固定資産			
什器備品	15,014,452	16,357,922	△ 1,343,470
電話加入権	643,078	643,078	0
その他の固定資産合計	15,657,530	17,001,000	△ 1,343,470
固定資産合計	910,180,668	893,598,682	16,581,986
資産合計	1,009,750,023	1,027,079,522	△ 17,329,499
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	69,894,022	88,728,557	△ 18,834,535
預り金	2,222,281	2,073,194	149,087
前受金	697,785	791,256	△ 93,471
仮受金	2,565,645	137,191	2,428,454
賞与引当金	5,415,377	5,007,649	407,728
流動負債合計	80,795,110	96,737,847	△ 15,942,737
2. 固定負債			
退職給付引当金	61,069,638	57,308,751	3,760,887
固定負債合計	61,069,638	57,308,751	3,760,887
負債合計	141,864,748	154,046,598	△ 12,181,850
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	300,000,000	300,000,000	0
地方公共団体寄付金	295,000,000	295,000,000	0
民間寄付金	188,453,500	179,594,500	8,859,000
指定正味財産合計	783,453,500	774,594,500	8,859,000
(うち基本財産への充当額)	(783,453,500)	(774,594,500)	(8,859,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	84,431,775	98,438,424	△ 14,006,649
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
正味財産合計	867,885,275	873,032,924	△ 5,147,649
負債及び正味財産合計	1,009,750,023	1,027,079,522	△ 17,329,499

正味財産増減計算書  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,978,654	10,051,622	△ 5,072,968
② 受取会費	23,408,000	23,752,000	△ 344,000
③ 受取補助金収益	699,782,663	700,000,000	△ 217,337
④ 事業収益	241,716,181	259,087,429	△ 17,371,248
伝統工芸士認定事業収益	7,062,550	6,622,900	439,650
伝統的工芸ふるさと体験・交流事業負担金収益	14,731,311	15,106,801	△ 375,490
伝統証紙事業収益	3,009,986	2,327,153	682,833
伝統工芸青山スクエア事業負担金収益	72,525,611	77,523,943	△ 4,998,332
伝統的工芸品月間事業負担金収益	11,020,350	17,207,574	△ 6,187,224
全国くらしの工芸展負担金収益	4,089,980	5,060,000	△ 970,020
伝統的工芸品展WAZA負担金収益	48,615,000	48,903,000	△ 288,000
全国伝統的工芸品公募展負担金収益	911,550	849,750	61,800
伝統的工芸品展WAZA販売促進事業収益	61,155,971	68,508,189	△ 7,352,218
その他事業収益	2,098,872	2,003,119	95,753
ふれあい広場都府県負担金収益	16,495,000	14,975,000	1,520,000
⑤ 雑収益	4,430,352	15,892,680	△ 11,462,328
伝統的工芸品展WAZA引当金取崩収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
受取利息	2,197	2,527	△ 330
雑収益	163,951	1,694,423	△ 1,530,472
消費税還付金	4,264,204	12,195,730	△ 7,931,526
経常収益計	974,315,850	1,008,783,731	△ 34,467,881
(2) 経常費用			
① 事業費	907,636,084	936,407,694	△ 28,771,610
役員報酬	17,040,000	10,408,049	6,631,951
職員給与	62,317,819	62,279,321	38,498
法定福利費(役職員)	12,085,244	11,465,413	619,831
退職給付費用	2,781,543	4,244,447	△ 1,462,904
賞与引当金繰入額	4,005,211	4,006,108	△ 897
講習会開催費	78,405,240	110,999,929	△ 32,594,689
パンフレット作成費	11,968,350	7,907,531	4,060,819
IT維持・更新費	8,206,446	5,531,583	2,674,863
広告宣伝費	153,470,410	106,413,077	47,057,333
借料及び損料	118,217,698	166,948,672	△ 48,730,974
検査指導員謝金	3,234,510	3,234,984	△ 474
検査指導員旅費	739,077	681,010	58,067
委員手当	1,190,000	1,060,000	130,000
委員等旅費	3,898,792	4,187,960	△ 289,168
会議費	693,484	569,448	124,036
講師謝金	4,060,000	3,115,000	945,000
講師旅費	7,764,255	6,335,555	1,428,700

科 目	当年度	前年度	増減
実演費	13,551,084	22,411,012	△ 8,859,928
説明員旅費	14,506,999	16,118,481	△ 1,611,482
消費者相談員謝金	2,769,997	2,874,034	△ 104,037
試験費	3,457,957	3,555,010	△ 97,053
認定費	779,328	212,544	566,784
交流会費	0	105,840	△ 105,840
調査費	12,877,930	0	12,877,930
研究会費	4,574,432	4,976,012	△ 401,580
備品費	460,080	0	460,080
光熱水料	3,707,302	3,648,977	58,325
内装費	239,328	1,326,961	△ 1,087,633
展示会出展費	868,065	0	868,065
梱包運送費	16,651,809	18,582,624	△ 1,930,815
装飾費	69,123,613	111,475,210	△ 42,351,597
資料購入費	38,826	10,124	28,702
職員旅費	9,306,607	4,727,717	4,578,890
アルバイト賃金	34,750,267	34,747,365	2,902
印刷費	3,288,268	6,692,386	△ 3,404,118
審査員謝金	220,000	200,000	20,000
審査員旅費	0	24,000	△ 24,000
写真撮影費	140,400	118,800	21,600
通信運搬費	6,486,789	6,333,769	153,020
消耗品費	967,878	1,992,989	△ 1,025,111
雑役務費	83,815,534	40,524,259	43,291,275
清掃料	3,081,460	2,663,280	418,180
警備費	1,312,200	875,123	437,077
保険料	2,678,098	2,150,739	527,359
試作費	455,635	715,600	△ 259,965
実演トーク開催費	19,719,995	28,970,464	△ 9,250,469
新規従事者支援費	24,474,000	16,350,000	8,124,000
法定福利費(アルバイト)	3,600,460	2,958,105	642,355
栄典費	2,301	1,853	448
研修会開催費	1,869,642	1,561,453	308,189
証紙等製造費	2,652,826	1,850,521	802,305
イベント開催費	61,471,596	73,492,642	△ 12,021,046
外国人誘致費	292,841	409,530	△ 116,689
記念品費	2,959,012	2,820,380	138,632
伝統的工芸品WAZA展引当金繰入支出	0	1,000,000	△ 1,000,000
雑費	6,110,548	6,303,860	△ 193,312
租税公課	298,400	280,800	17,600
減価償却費	3,996,498	3,957,143	39,355

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	80,686,415	78,993,346	1,693,069
役員報酬	4,680,000	3,111,093	1,568,907
職員給与	15,847,411	11,111,980	4,735,431
法定福利費(役職員)	3,134,715	2,162,370	972,345
退職給付費用	979,344	1,061,122	△ 81,778
賞与引当金繰入額	1,410,166	1,001,541	408,625
借料及び損料	35,791,668	32,745,672	3,045,996
備品費	0	1,146,557	△ 1,146,557
光熱水料	1,571,923	1,547,197	24,726
通信運搬費	783,595	725,861	57,734
雑役務費	6,548,671	9,623,252	△ 3,074,581
清掃料	1,129,260	1,129,260	0
印刷製本費	189,540	214,090	△ 24,550
委員等旅費	3,048,132	4,026,970	△ 978,838
会議費	748,048	737,149	10,899
職員旅費	1,032,433	1,213,792	△ 181,359
消耗品費	831,325	555,157	276,168
法定福利費(アルバイト)	276,088	510,712	△ 234,624
厚生費	151,936	169,416	△ 17,480
雑費	1,082,525	1,777,720	△ 695,195
租税公課	1,447,483	2,891,595	△ 1,444,112
備品処分損	2	0	2
減価償却費	2,150	2,150	0
支払寄付金	0	1,528,690	△ 1,528,690
經常費用計	988,322,499	1,015,401,040	△ 27,078,541
当期經常増減額	△ 14,006,649	△ 6,617,309	△ 7,389,340
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
過年度消費税還付金	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
過年度事業支出	0	259,200	△ 259,200
經常外費用計	0	259,200	△ 259,200
当期經常外増減額	0	△ 259,200	259,200
当期一般正味財産増減額	△ 14,006,649	△ 6,876,509	△ 7,130,140
一般正味財産期首残高	98,438,424	105,314,933	△ 6,876,509
一般正味財産期末残高	84,431,775	98,438,424	△ 14,006,649
II 指定正味財産増減の部			0
(1) 基本財産収入	240,000	50,000	190,000
(2) 基本財産評価損益	8,619,000	4,249,434	4,369,566
当期指定正味財産増減額	8,859,000	4,299,434	4,559,566
指定正味財産期首残高	774,594,500	770,295,066	4,299,434
指定正味財産期末残高	783,453,500	774,594,500	8,859,000
			0
III 正味財産期末残高	867,885,275	873,032,924	△ 5,147,649





平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科目	実施事業等会計																その他会計						法人会計	内部取引控除	合計		
	伝統工芸士	功勞	教育	ふるさと	振興指導	産地診断	普及	センター	月間推進	IT活用	公募展	フォーラム	活用展	子ども体験	図画・作文	共通	小計	普及展示	海外展示	伝統証紙	工芸士展	連携推進				共通	小計
保険料	0	0	0	0	0	0	0	395,600	1,366,289	0	0	0	0	427,841	0	2,189,730	0	488,368	0	0	0	0	488,368		2,678,098		
試作費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	455,635	0	0	0	0	455,635	0	0	0	0	0	0	0		455,635		
実演トーク開催費	0	0	0	19,719,995	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,719,995	0	0	0	0	0	0	0		19,719,995		
新規従事者支援費	0	0	0	24,474,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,474,000	0	0	0	0	0	0	0		24,474,000		
法定福利費(アルバイト)	0	0	0	145,680	29,109	300,172	1,781	2,164,598	959,120	0	0	0	0	0	0	3,600,460	0	0	0	0	0	0	0		3,600,460		
栄典費	2,301	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,301	0	0	0	0	0	0	0		2,301		
研修会開催費	1,869,642	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,869,642	0	0	0	0	0	0	0		1,869,642		
証紙等製造費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,652,826	0	0	0	2,652,826		2,652,826		
イベント開催費	0	0	0	0	0	0	0	3,618,690	0	0	0	0	6,781,190	0	0	10,399,880	0	0	0	0	51,071,716	0	51,071,716		61,471,596		
外国人誘致費	0	0	0	0	0	0	292,841	0	0	0	0	0	0	0	0	292,841	0	0	0	0	0	0	0		292,841		
記念品費	0	0	0	0	0	0	156,600	0	816,480	0	860,000	0	0	1,125,932	0	2,959,012	0	0	0	0	0	0	0		2,959,012		
伝統的工芸品展WAZA引当金繰入額																0									0		
雑費	8,367	0	0	3,703	2,133	90,196	16,675	21,600	5,915,800	0	29,700	0	9,764	0	6,097,938	0	12,610	0	0	0	0	0	12,610		6,110,548		
租税公課	0	0	0	0	800	0	168,800	6,400	80,450	0	400	0	35,500	0	292,350	0	5,050	1,000	0	0	0	0	6,050		298,400		
減価償却費	0	0	0	0	0	0	56,619	3,906,602	33,277	0	0	0	0	0	3,996,498	0	0	0	0	0	0	0	0		3,996,498		
管理費																									80,686,415	0	80,686,415
役員報酬																									4,680,000		4,680,000
職員給与																									15,847,411		15,847,411
法定福利費(役職員)																									3,134,715		3,134,715
退職給付費用																									979,344		979,344
賞与引当金繰入額																									1,410,166		1,410,166
借料及び損料																									35,791,668		35,791,668
備品費																									0		0
光熱水料																									1,571,923		1,571,923
通信運搬費																									783,595		783,595
雑役務費																									6,548,671		6,548,671
清掃料																									1,129,260		1,129,260
印刷製本費																									189,540		189,540
委員等旅費																									3,048,132		3,048,132
会議費																									748,048		748,048
職員旅費																									1,032,433		1,032,433
消耗品費																									831,325		831,325
法定福利費(アルバイト)																									276,088		276,088
厚生費																									151,936		151,936
雑費																									1,082,525		1,082,525
租税公課																									1,447,483		1,447,483
備品処分損																									2		2
減価償却費																									2,150		2,150
支払寄付金																									0		0
<b>経常費用計</b>	<b>16,105,455</b>	<b>0</b>	<b>89,607,944</b>	<b>51,277,507</b>	<b>6,754,849</b>	<b>10,549,865</b>	<b>141,930,419</b>	<b>188,735,020</b>	<b>143,775,873</b>	<b>10,750,956</b>	<b>9,276,353</b>	<b>14,526,545</b>	<b>0</b>	<b>71,068,031</b>	<b>0</b>	<b>754,358,817</b>	<b>6,055,528</b>	<b>84,054,406</b>	<b>5,249,542</b>	<b>6,089,465</b>	<b>51,828,326</b>	<b>0</b>	<b>153,277,267</b>	<b>80,686,415</b>	<b>0</b>	<b>988,322,499</b>	
当期経常増減額	383,159	0	△ 3,946,171	△ 1,918,124	△ 1,871,021	△ 4,077,354	△ 5,202,201	11,014,524	△ 511,996	△ 1,657,362	△ 2,522,687	△ 2,763,140	0	△ 2,059,536	0	△ 15,131,909	△ 388,294	△ 8,652,398	△ 2,239,556	△ 1,999,485	9,327,645	0	△ 3,952,088	5,077,348	0	△ 14,006,649	
2. 経常外増減の部																											
(1) 経常外収益																											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用																											
過年度事業費支出																0								0			
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	383,159	0	△ 3,946,171	△ 1,918,124	△ 1,871,021	△ 4,077,354	△ 5,202,201	11,014,524	△ 511,996	△ 1,657,362	△ 2,522,687	△ 2,763,140	0	△ 2,059,536	0	△ 15,131,909	△ 388,294	△ 8,652,398	△ 2,239,556	△ 1,999,485	9,327,645	0	△ 3,952,088	5,077,348	0	△ 14,006,649	
一般正味財産期首残高																											98,438,424
一般正味財産期末残高																											84,431,775
II 指定正味財産増減の部																											
①基本財産収入																											240,000
②基本財産評価損益																											8,619,000
当期指定正味財産増減額																											8,859,000
指定正味財産期首残高																											774,594,500
指定正味財産期末残高																											783,453,500
III 正味財産期末残高																											867,885,275

財 産 目 録  
平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
現金	現金手元有高	472,597
貯蔵品	切手および伝統証紙有高	1,412,585
銀行預金	三菱UFJ銀行他	75,082,032
未収金	特別展産地負担金他	18,248,343
前払金	展示場動産保険	357,780
仮払金		3,996,018
流動資産合計		99,569,355
<b>2. 固定資産</b>		
<b>(1) 基本財産</b>		
投資有価証券	利付国債	198,655,000
	社債他	361,102,000
銀行預金	普通預金(三菱UFJ銀行)	223,696,500
基本財産合計		783,453,500
<b>(2) 特定資産</b>		
退職給付引当資産	退職給与分	61,069,638
運営強化基金資産		50,000,000
特定資産合計		111,069,638
<b>(3) その他の固定資産</b>		
什器備品	展示場備品、事務用備品	15,014,452
電話加入権	NTT	643,078
その他の固定資産合計		15,657,530
固定資産合計		910,180,668
<b>資産合計</b>		1,009,750,023
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
未払金	WAZA展経費他	69,894,022
預り金	職員等源泉所得税他	2,222,281
前受金	特別展出品管理料他	697,785
仮受金	青山スクエア売上入金分	2,565,645
賞与引当金	職員賞与引当金	5,415,377
流動負債合計		80,795,110
<b>2. 固定負債</b>		
退職給付引当金		61,069,638
固定負債合計		61,069,638
<b>負債合計</b>		141,864,748
<b>正味財産</b>		867,885,275

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### ①満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっている。

##### ②その他有価証券

時価のあるもの…決算時の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっている。

時価のないもの…移動平均法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### 有形固定資産

什器備品…定額法によっている。

##### 無形固定資産

定額法によっている。なお、ソフトウェアについては法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については、過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金 …職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異は15年で償却している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式に拠っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	551,138,000	158,298,500	149,679,500	559,757,000
銀行預金	223,456,500	240,000	0	223,696,500
小計	774,594,500	158,538,500	149,679,500	783,453,500
特定資産				
退職給付引当資産	52,003,182	9,066,456	0	61,069,638
運営強化基金資産	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	102,003,182	9,066,456	0	111,069,638
合計	876,597,682	167,604,956	149,679,500	894,523,138

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	559,757,000	( 559,757,000 )	-	-
銀行預金	223,696,500	( 223,696,500 )	-	-
小計	783,453,500	( 783,453,500 )	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	61,069,638	-	-	( 61,069,638 )
運営強化基金資産	50,000,000	-	( 50,000,000 )	( 0 )
小計	111,069,638	-	( 50,000,000 )	( 61,069,638 )
合計	894,523,138	( 783,453,500 )	( 50,000,000 )	( 61,069,638 )

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	37,855,570	22,841,118	15,014,452
合計	37,855,570	22,841,118	15,014,452

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
<b>基本財産</b>			
国際復興開発銀行パワーリバース債	250,000,000	261,675,000	11,675,000
合計	250,000,000	261,675,000	11,675,000

注) 上記債券は、証券会社が発行するいわゆる「しくみ債」であって、この債券はその性格上市場性がないため、時価の評価が困難な債券です。従って、発行した証券会社によれば、上記の時価は次のような前提条件のもとで算出した時価情報となっています。

証券会社によれば、

- (1) 証券会社が定める評価基準日及び評価方法による評価額を時価情報として記載・提供したものであること。
- (2) ただし、財務諸表、税務申告書、その他官公庁等への届出書・報告書の作成という目的に適合しているか否かについては一切保証するものではないこと。
- (3) 時価情報を提供する条件として、何らの表明も保証も行わないこと。
- (4) 時価情報の価格決定に関する情報の正確さ、信頼性、完全性及びその妥当性に関していかなる目的においても一切の説明や保証はしないこと。
- (5) 時価情報作成後、公表等時価または評価・算定時価の修正がある場合、記載されている時価情報を予告なく変更することがあること。

以上の条件で時価が設定されていますが、いずれの債券も満期保有を目的としているため、満期には購入時の額面で償還されるものです。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	経済産業省	0	699,782,663	699,782,663	0	—
合計		0	699,782,663	699,782,663	0	

## 7. その他

### (1)退職給付関係

#### ①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

#### ②退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

①退職給付債務	68,694,376
②会計基準変更時差異の未処理額	△ 7,624,738
③退職給付引当金(①+②)	61,069,638

#### ③退職給付費用に関する事項

(単位:円)

①勤務費用	△ 51,487
②会計基準変更時差異の費用処理額	3,812,374
③退職給付費用(①+②)	3,760,887

#### ④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

#### ⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年 (残存2年)

## 8. 実施事業資産

実施事業資産は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高
什器備品	15,014,446
合計	15,014,446

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、記載を省略している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,007,649	5,415,377	5,007,649	0	5,415,377
退職給付引当金	57,308,751	3,760,887	0	0	61,069,638



# 監 査 報 告 書

令和元年 6 月 3 日

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会  
代表理事 安 藤 重 良 殿

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

監事 加 藤 庄 平 ㊟

監事 阿 久 津 正 志 ㊟

監事 山 田 ひ さ の ㊟

一般財団法人として平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)における一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の業務および財産の状況ならびに公益目的支出計画の実施状況について、法令および定款に基づき監査を行ったので、次の通り報告する。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを実施し、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて理事の業務遂行の妥当性を検討した。
- (3) 公益目的支出計画実施報告については、事業報告、財務諸表、および関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、公益目的支出計画の実施状況の妥当性を検討した。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、事実に従い、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の状況を正しく示しているものと認める。また、理事の業務執行に関する不正行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表及び財産目録は、会計帳簿の記録金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書の内容は、法令または定款に従い、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。

以上